

18-E002

資料

平成18年度
我が国産業界における EDI 実態調査報告書

平成19年3月

団法人日本情報処理開発協会
電子商取引推進センター



この事業は、競輪の補助金を受けて、実施したものです。
<http://keirin.jp>



はじめに

この報告書は、財団法人日本情報処理開発協会が競輪の補助金を受けて実施した平成18年度「電子商取引の推進に関する調査研究補助事業」の一環として取りまとめたものである。

財団法人日本情報処理開発協会 電子商取引推進センター(JIPDEC / ECPC)と EDI 推進協議会(JEDIC)は、日本における EDI の普及を推進するために、産業界各位からのご協力をいただきながら、各種の普及・啓発事業を行っています。多くの業界、企業の努力に加え、昨今の情報技術の急速な発展により、わが国における EDI は着実に進展してきているように思われます。

しかしながら、その進展状況を定量的に観測するデータは残念ながらほとんどないようです。このため、EDI の普及促進のために、今後どのような領域に注力すべきかを把握することが困難であり、また、実際に EDI を使い始めようとする企業にとっては、相手先業界における EDI 化の状況把握が困難になっています。

こうした背景から JIPDEC / ECPC と JEDIC では、国内企業の我が国の EDI の実態を把握し、その結果を広く一般に公表することを目的として、平成 8 年度から EDI の利用実態に関する調査を開始しました。本報告書はその第 11 回目の調査結果を取りまとめたものです。

平成 18 年度の EDI 実態調査は、EDI 推進協議会の会員団体に参加されている企業だけにフォーカスし、会員団体に全面的なご協力を得るとともに、各会員の業界内での実態を把握できるような調査方式を導入し、アンケート調査を行いました。また、会員ならびに EDI 推進部会のご助言をいただき、設問を簡略化し、回答し易いものになっています。そのため、3,357 社にアンケートを送付し、656 社からご回答を頂くことができ、回収率は 19.5%と近年にない好結果となりました。

最後に、ご多忙の中、本調査の企画から実施・調査の取りまとめのために、ご指導並びにご協力をいただいた経済産業省、EDI 推進協議会会員をはじめとする関係各位に深甚なる感謝の意を表します。

平成 19 年 3 月

財団法人日本情報処理開発協会
電子商取引推進センター

E DI推進協議会 関係者名簿

(順不同・敬称略)

1. 役員

会 長： 小笠原 一晃 (社)電子情報技術産業協会
副 会 長： 竹田原 昇司 (財)日本情報処理開発協会

2. 運営委員会

委 員 長： 矢野 晴一 (社)電子情報技術産業協会
副委員長： 片岡 幸一 (財)日本情報処理開発協会
委 員： 安立 正明 (社)日本電機工業会
石井 徹郎 (社)日本ロジスティクスシステム協会
石原 直 旅行電子商取引促進機構
潮田 直樹 繊維産業流通構造改革推進協議会
大久保 秀典 武蔵工業大学 / ロジックコンサルティング
九萬原 敏已 電気事業連合会
佐竹 一雄 (社)日本貿易会
大坂 光弘 (財)建設業振興基金
園田 信夫 (財)建設業振興基金
脊戸 雄功 (社)日本鉄鋼連盟
高草 健治 (社)日本航空宇宙工業会
濱野 径雄 (財)流通システム開発センター
治田 彰 (財)日本貿易関係手続簡易化協会
吉野 榮春 (社)日本電線工業会
長谷川 誠一 石油化学工業協会

3. EDI 推進部会

部 会 長： 大久保 秀典 武蔵工業大学 / ロジックコンサルティング
副 部 会 長： 九萬原 敏已 電気事業連合会
委 員： 関根 直弘 EDI推進協議会参与 / NBS 研究所
鬼頭 吉雄 NECネクサソリューションズ(株)
川内 晟宏 共通XML / EDI実用化推進協議会
牧野 光陽 共通XML / EDI実用化推進協議会
伊藤 博 (社)港湾物流情報システム協会
星野 隆一 (財)建設業振興基金
橋本 純生 写真業界流通情報システム協議会
板野 則弘 石油化学工業協会
仲井 公哉 全国コイルセンター工業組合
保倉 二郎 全国コイルセンター工業組合
宮崎 世始久 全日本電設資材卸業協同組合連合会
矢野 晴一 (社)電子情報技術産業協会
神戸 誠 (社)電子情報技術産業協会
笠井 利一 (社)電子情報技術産業協会
越田 修 (社)電子情報技術産業協会
中野 彰一 (社)日本アパレル産業協会
稲田 道憲 日本紙商団体連合会・日本製紙連合会
須々木 洋三 日本紙商団体連合会・日本製紙連合会
高草 健治 (社)日本航空宇宙工業会
小堀 育男 (社)日本鉄鋼連盟

大関 俊行	(社)日本電機工業会
吉野 榮春	(社)日本電線工業会
磯貝 俊夫	(社)日本物流団体連合会
水口 淳一郎	(社)日本物流団体連合会
千葉 達雄	(社)日本貿易会
伊東 健治	(財)日本貿易関係手続簡易化協会
坂本 尚登	(財)流通システム開発センター
松岡 道展	旅行電子商取引促進機構

4 . オブザーバー

経済産業省商務情報政策局情報経済課

5 . 事務局

菅又 久直	(財)日本情報処理開発協会	電子商取引推進センター
若泉 和彦	(財)日本情報処理開発協会	電子商取引推進センター
田盛 正人	(財)日本情報処理開発協会	電子商取引推進センター
神酒 絵里子	(財)日本情報処理開発協会	電子商取引推進センター

目次

1	概要	- 3 -
1.1	調査の目的	- 3 -
1.2	調査方法	- 3 -
1.2.1	実査手順	- 3 -
1.2.2	調査票の概要	- 3 -
1.2.3	アンケート回収状況	- 4 -
2	調査結果	- 5 -
3	まとめ	- 47 -
3.1	アンケート調査結果より	- 47 -
3.1.1	業務面について	- 47 -
3.1.2	技術面について	- 47 -
3.2	調査票に関する改善提案	- 48 -
3.3	調査実施方法に関する改善提案	- 49 -
4	アンケート調査票	- 50 -

1. 概要

1 概要

1.1 調査の目的

「国内外の EDI 実態調査」は、国内企業の EDI の利用状況等を把握するとともに、EDI の普及拡大に資するために、1997 年より(財)日本情報処理開発協会 電子商取引推進センターによって経年的に行われてきており、今回で 11 回目となる。

本調査は「国内企業の EDI 利用状況の把握」や「EDI の普及拡大方策策定に資する資料、情報の提供等」が基本的な目的であり、従来の調査を踏襲し、従来の調査との連続性を確保するが、適宜、調査対象や調査内容の見直しを行い、わが国の EDI 利活用の実態をより正確に把握することを目指す。

1.2 調査方法

今回の調査では、企業に対してアンケート調査を実施した。調査票の送付にあたっては、紙の調査票を郵送する方式、電子ファイル(エクセル方式)の調査票を電子メールにより送付する方式、電子ファイル(エクセル方式)の調査票をダウンロードする方式のいずれかを採用した。

また、今回の調査では、アンケート調査の回収率を向上させるため、EDI 推進協議会(JEDIC)の会員団体のご協力のもと、会員団体から、各団体の会員企業へアンケート調査協力の依頼を実施していただいた。また、いくつかの団体ではアンケート調査票の会員企業への送付もお願いした。

1.2.1 実査手順

(1)アンケート調査票および調査方法の決定

アンケート調査票は、JEDIC 会員団体にとって価値のある調査を目指し、JEDIC の EDI 推進委員会、並びに会員団体から意見を頂戴しながら、従来よりも質問数を減らし、回答し易いものとした。

(2)JEDIC 会員団体への協力依頼(2007 年 1 月 31 日～2007 年 2 月上旬)

JEDIC 会員である 59 団体に対し、今回の調査方法を説明のうえ協力を依頼し、最終的に 28 団体よりご協力をいただいた。

また、協力の意向をいただいた団体より順次、アンケート調査票の送付方法について調整をさせていただき、上述したいずれかの方法で実施することを決定した。

(3)アンケート調査票送付および回収(2007 年 2 月上旬～2007 年 3 月 9 日)

1.2.2 調査票の概要

アンケート調査票は以下の内容より構成した。なお、調査票は巻末に添付する。

- 回答企業プロフィール
回答企業の資本金、売上高、従業員数
- EDI の業務面に関する質問
EDI の導入状況および活用の実態、効果等について
- EDI の技術面に関する質問

現在利用している、もしくは今後の利用を検討している EDI の技術的内容(通信ネットワーク、通信プロトコル、シンタックスルール等)について

また、アンケート調査票は回答し易さを考慮し、会社名・部門名以外、全て選択式とした。

なお、アンケート調査票は原則として全団体共通の内容としたが、会員団体による設問の追加等のカスタマイズを可能としている。また、回収率を向上させるため、回答が困難な設問については、無回答も可とした。そのため、設問によって有効回答数が異なる点に留意いただきたい。

1.2.3 アンケート回収状況

アンケート調査票の発送数、回収数、回収率は次のとおり。

- 発送数 : 3,357 件
- 回収数 : 656 件
- 回収率 : 19.5%

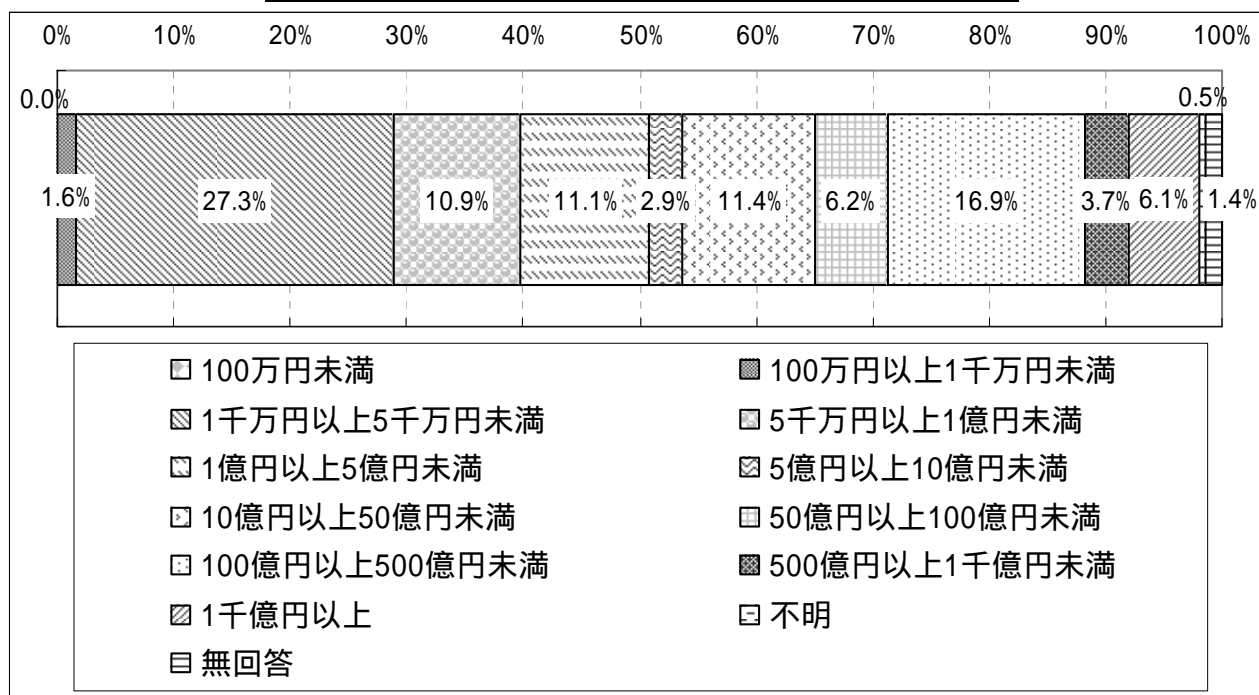
2 調査結果

2.1 調査回答企業プロフィール

問1 貴社のH18年3月末時点の資本金はどれくらいですか。(1つ選択)

…有効回答数:561

資本金	回答数	構成比
100万円未満	0	0.0%
100万円以上1千万円未満	9	1.6%
1千万円以上5千万円未満	153	27.3%
5千万円以上1億円未満	61	10.9%
1億円以上5億円未満	62	11.1%
5億円以上10億円未満	16	2.9%
10億円以上50億円未満	64	11.4%
50億円以上100億円未満	35	6.2%
100億円以上500億円未満	95	16.9%
500億円以上1千億円未満	21	3.7%
1千億円以上	34	6.1%
不明	3	0.5%
無回答	8	1.4%
合計	561	100.0%

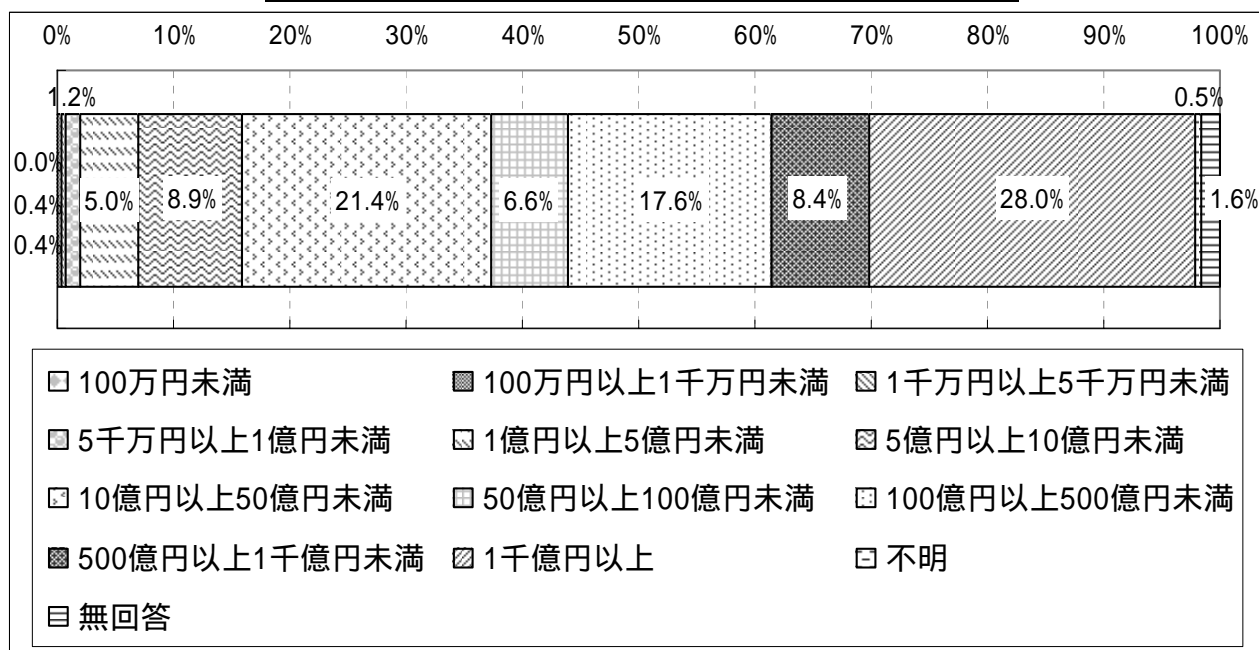


回答のあった企業は、資本金規模別にみると「1千万円以上5千万円未満」が27.3%と最も多く、「1千万円未満」(1.6%)、「1億円未満」(10.9%)を合わせると、約4割となり、資本規模が比較的小さい(1億円以下)企業が多い。一方で、「10億円以上50億円未満」が11.4%、「100億円以上500億円未満」が16.9%と、資本金規模の大きな企業からの回答も確保している。

問2 貴社(ご回答部門)のH17年度の売上高はどれくらいですか。(1つ選択)

…有効回答数:561

売上高	回答数	構成比
100万円未満	0	0.0%
100万円以上1千万円未満	2	0.4%
1千万円以上5千万円未満	2	0.4%
5千万円以上1億円未満	7	1.2%
1億円以上5億円未満	28	5.0%
5億円以上10億円未満	50	8.9%
10億円以上50億円未満	120	21.4%
50億円以上100億円未満	37	6.6%
100億円以上500億円未満	99	17.6%
500億円以上1千億円未満	47	8.4%
1千億円以上	157	28.0%
不明	3	0.5%
無回答	9	1.6%
合計	561	100.0%

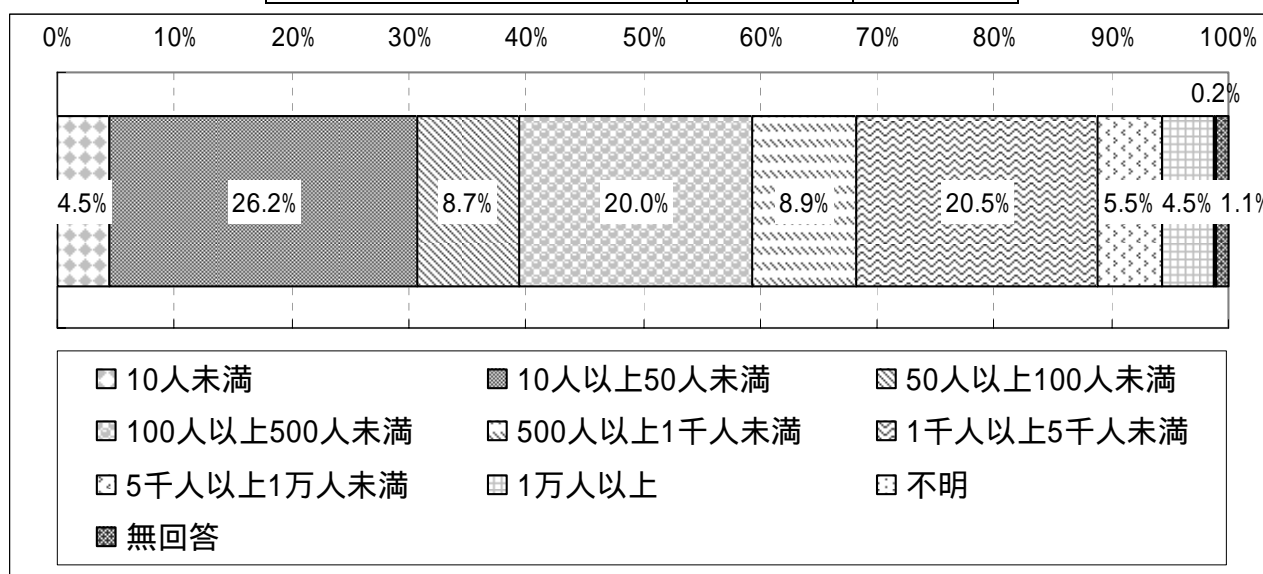


回答のあった企業は、売上高規模別にみると10億円以上に多く、特に1千億円以上の企業が28%を占めている。これに対し、1億円未満の企業は2.0%と非常に少ない。

問3 貴社(ご回答部門)のH18年3月末時点の従業員は何人ですか。(1つ選択)

…有効回答数:561

従業員数	回答数	構成比
10人未満	25	4.5%
10人以上50人未満	147	26.2%
50人以上100人未満	49	8.7%
100人以上500人未満	112	20.0%
500人以上1千人未満	50	8.9%
1千人以上5千人未満	115	20.5%
5千人以上1万人未満	31	5.5%
1万人以上	25	4.5%
不明	1	0.2%
無回答	6	1.1%
合計	561	100.0%



従業員規模別にみると、5,000人を超える企業は少ないが、「10人以上50人未満」から「1千人以上5千人未満」まで、偏りなく分布している。

なお、問1と問2及び問3のクロス集計を行なったところ、売上高50億円未満の企業には、資本金5千万円未満の企業が多く、また、従業員数50人未満の企業が多かった。

2.2 EDI 活用の実態 ～業務面

問4 貴社(ご回答部門)が所属する業界団体をお教えてください。複数の団体に所属されている場合は、ご回答部門と関係の深い順に4つまでお答えください。(4つまで選択)

…有効回答数:656

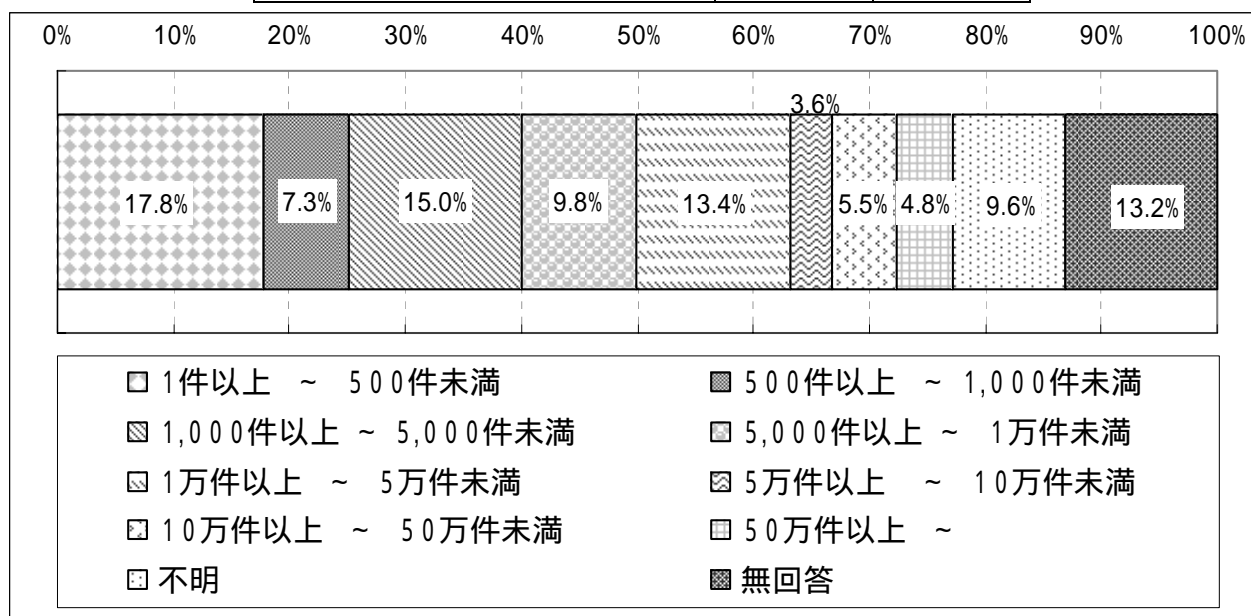
所属団体		回答
1.	(社)日本自動認識システム協会	2.0%
2.	(財)エンジニアリング振興協会	0.8%
3.	(財)家電製品協会	1.7%
4.	(社)日本アルミニウム協会	0.3%
5.	(財)建設業振興基金	2.3%
6.	(社)日本鉄鋼連盟	2.9%
7.	(社)港湾物流情報システム協会	4.4%
8.	(財)国際情報化協力センター	0.3%
9.	写真業界流通情報システム協議会	0.0%
10.	(財)住宅産業情報サービス	0.3%
11.	(社)情報サービス産業協会	0.0%
12.	(財)情報処理相互運用技術協会	0.3%
13.	(財)生活用品振興センター	0.2%
14.	(財)製造科学技術センター	0.2%
15.	石油化学工業協会	1.5%
16.	石油連盟	0.2%
17.	全国コイルセンター工業組合	14.6%
18.	全国鉄鋼販売業連合会	0.6%
19.	全日本電設資材卸業協同組合連合会	0.8%
20.	電気事業連合会	1.8%
21.	(社)日本アパレル産業協会	0.3%
22.	(財)インターネット協会	0.3%
23.	日本化学繊維協会	0.5%
24.	(社)日本ガス協会	1.4%
25.	日本紙商団体連合会	15.9%
26.	(社)日本玩具協会	0.0%
27.	(社)日本建材・住宅設備産業協会	0.3%
28.	(社)日本広告業協会	5.6%
29.	(社)日本自動車工業会	0.5%
30.	(社)日本情報システム・ユーザー協会	1.1%
31.	日本製紙連合会	3.8%
32.	日本チェーンストア協会	2.4%
33.	(社)日本電気計測器工業会	2.4%
34.	(社)日本電機工業会	6.4%
35.	(社)全国自動車部品商団体連合会	0.0%
36.	(社)電子情報技術産業協会	13.7%
37.	(社)日本電線工業会	0.9%
38.	(社)パーソナルコンピュータソフトウェア協会	0.2%
39.	(社)日本半導体製造装置協会	1.2%
40.	日本百貨店協会	3.4%

所属団体		回答
41.	日本フォーム印刷工業連合会	1.1%
42.	(社)日本貿易会	2.6%
43.	(財)日本貿易関係手続簡易化協会 (及び本協会の会員団体,日本船主協会など)	3.2%
44.	日本紡績協会	1.1%
45.	日本優良家具販売協同組合	0.2%
46.	(社)日本ロジスティクスシステム協会	1.4%
47.	(社)日本物流団体連合会 (及び本連合会の会員団体,例:全日本トラック協会など)	2.6%
48.	NEXT Q	0.0%
49.	(財)流通システム開発センター	0.9%
50.	旅行電子商取引促進機構	0.0%
51.	(財)日本情報処理開発協会	0.8%
52.	(財)石油産業活性化センター	0.0%
53.	繊維産業流通構造改革推進協議会	0.5%
54.	(社)日本配電盤工業会	1.2%
55.	(社)日本航空宇宙工業会	0.3%
56.	(財)食品流通構造改善促進機構	0.0%
57.	全国家電流通協議会	0.0%
58.	(社)日本塗料工業会	0.2%
59.	(社)日本電気制御機器工業会	0.8%
60.	共通XML/EDI実用化推進協議会	0.2%
61.	不明	5.3%

問5 貴社(ご回答部門)が発注者の立場の場合、平成 17 年度の月平均の国内企業への発注件数はどのくらいですか。(1つ選択)

…有効回答数:561

発注件数	回答数	構成比
1件以上 ~ 500件未満	100	17.8%
500件以上 ~ 1,000件未満	41	7.3%
1,000件以上 ~ 5,000件未満	84	15.0%
5,000件以上 ~ 1万件未満	55	9.8%
1万件以上 ~ 5万件未満	75	13.4%
5万件以上 ~ 10万件未満	20	3.6%
10万件以上 ~ 50万件未満	31	5.5%
50万件以上 ~	27	4.8%
不明	54	9.6%
無回答	74	13.2%
合計	561	100.0%

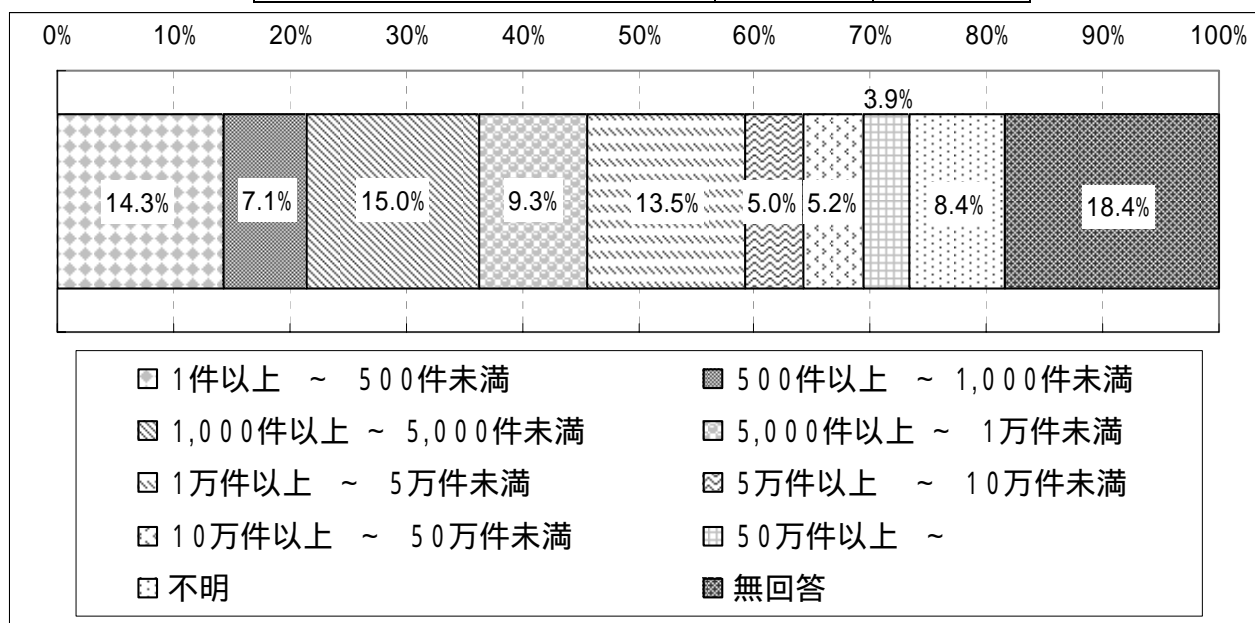


「500 件未満」が 17.8%と最も高い割合を占めてはいるが、「1,000 件以上 5,000 件未満」が 15.0%、「5,000 件以上 1 万件未満」が 9.8%、「1 万件以上 5 万件未満」が 13.4%と、分散傾向にある。「50 万件以上」の企業も 4.8%と少なくない。

問6 貴社(ご回答部門)が受注者の立場の場合、平成17年度の月平均の国内企業からの受注件数はどのくらいですか。(1つ選択)

…有効回答数:561

受注件数	回答数	構成比
1件以上 ~ 500件未満	80	14.3%
500件以上 ~ 1,000件未満	40	7.1%
1,000件以上 ~ 5,000件未満	84	15.0%
5,000件以上 ~ 1万件未満	52	9.3%
1万件以上 ~ 5万件未満	76	13.5%
5万件以上 ~ 10万件未満	28	5.0%
10万件以上 ~ 50万件未満	29	5.2%
50万件以上 ~	22	3.9%
不明	47	8.4%
無回答	103	18.4%
合計	561	100.0%

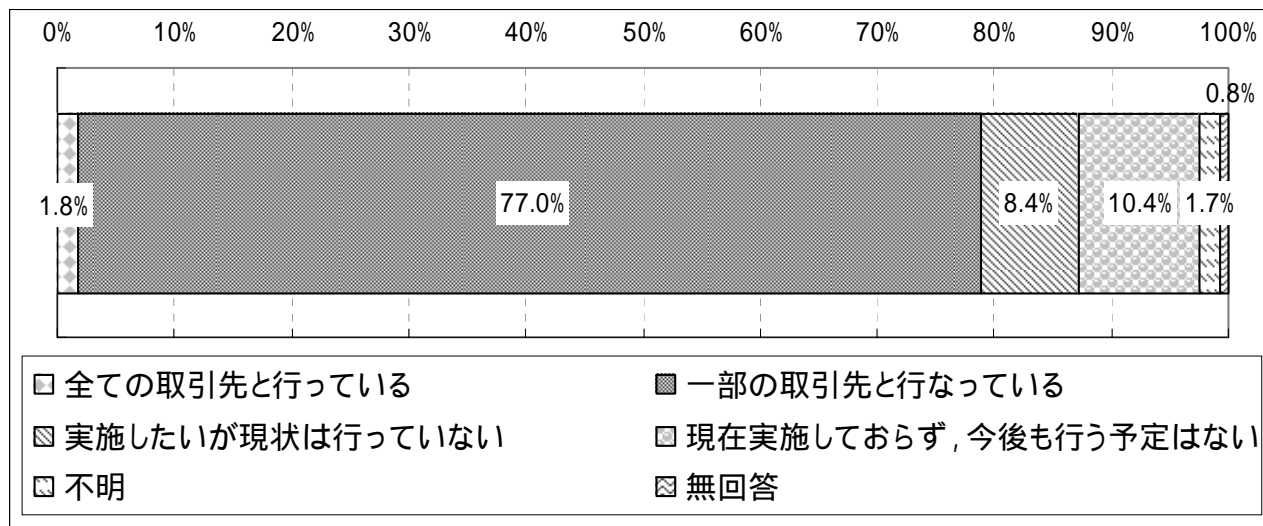


「1,000件以上 5,000件未満」が15.0%と最も高い割合を占めてはいるが、「500件未満」が14.3%、「5,000件以上 1万件未満」が9.3%、「1万件以上 5万件未満」が13.5%など、発注件数よりもさらに分散傾向にある。

問7 貴社(ご回答部門)では国内企業との取引で、EDIを導入していますか。(1つ選択)

…有効回答数:656

EDI 導入状況	回答数	構成比
全ての取引先と行っている	12	1.8%
一部の取引先と行っている	505	77.0%
実施したいが現状は行っていない	55	8.4%
現状実施しておらず、今後行う予定はない	68	10.4%
不明	11	1.7%
無回答	5	0.8%
合計	656	100.0%



EDIを「一部の取引先と行っている」と回答した企業が77.0%と圧倒的に多く、「全ての取引先と行っている」とする企業は1.8%と極めて少ない。また、「現状実施しておらず、今後行う予定はない」とする企業が1割以上存在する。

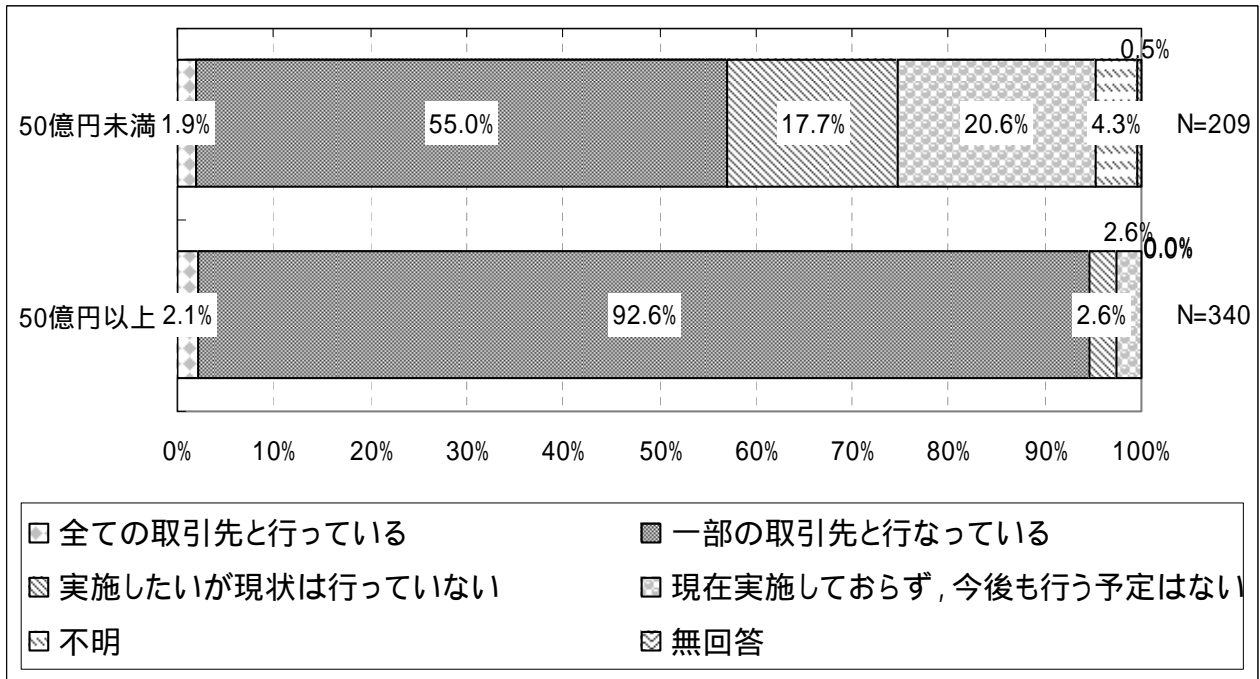
クロス集計 問2(売上高) × 問7

EDI 導入状況 売上高	N	全ての取引先 と行っている	一部の取引先 と行なっている	実施したいが 現状は行って いない	現在実施して おらず今後も 行う予定は ない	不明	無回答
100万円未満	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
100万円以上 1千万円未満	2	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
1千万円以上 5千万円未満	2	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%
5千万円以上 1億円未満	7	0.0%	57.1%	42.9%	0.0%	0.0%	0.0%
1億円以上 5億円未満	28	0.0%	32.1%	17.9%	46.4%	3.6%	0.0%
5億円以上 10億円未満	50	2.0%	48.0%	22.0%	24.0%	2.0%	2.0%
10億円以上 50億円未満	120	2.5%	63.3%	15.0%	13.3%	5.8%	0.0%
50億円以上 100億円未満	37	0.0%	81.1%	2.7%	16.2%	0.0%	0.0%
100億円以上 500億円未満	99	1.0%	89.9%	7.1%	2.0%	0.0%	0.0%
500億円以上 1千億円未満	47	2.1%	95.7%	2.1%	0.0%	0.0%	0.0%
1千億円以上	157	3.2%	96.2%	0.0%	0.6%	0.0%	0.0%

(次ページに続く)

クロス集計 問2(売上高セグメント) × 問7

EDI 導入状況 売上高	N	全ての取引先 と行っている	一部の取引先 と行なっている	実施したいが 現状は行って いない	現在実施して おらず今後も 行う予定は ない	不明	無回答
50 億円未満	209	1.9%	55.0%	17.7%	20.6%	4.3%	0.5%
50 億円以上	340	2.1%	92.6%	2.6%	2.6%	0.0%	0.0%



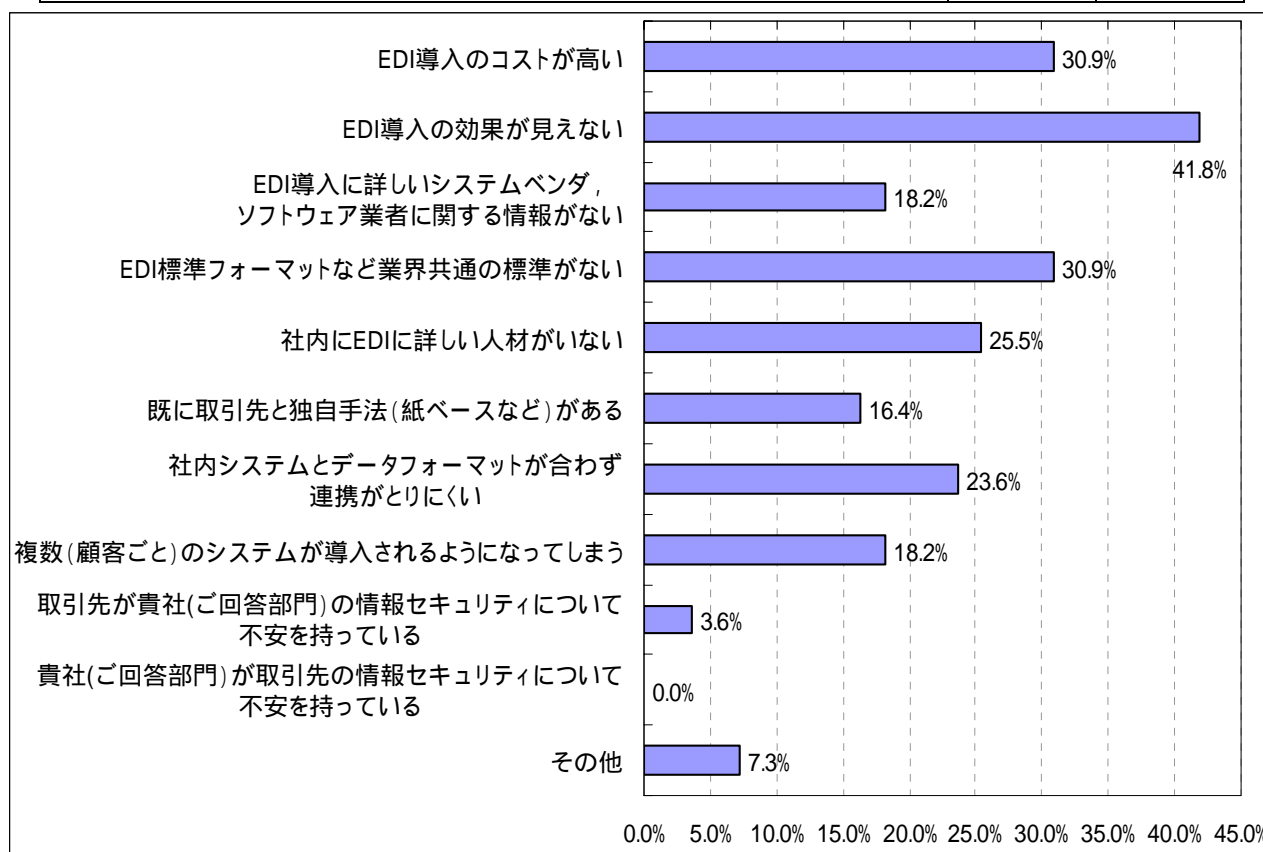
売上高が 50 億円を超える企業はほとんど(94.7%)が一部または全ての取引先と EDI を導入していると言っても過言ではない。それに対して、50 億円未満の企業では、一部または全ての取引先と EDI を導入しているのは 6 割に届かず、「現在実施しておらず今後行う予定はない」が 20.6%にも達している。

EDI 取引の実施率もしくはニーズの強さは、売上高(企業活動の活発さ,あるいは取引に係わる事務作業の多さ)に強く依存する関係にあることが分かる。

問8 問7で「実施したいが現状は行っていない。」とお答えの方に伺います。EDIを導入していない理由は何ですか。(3つまで選択)

…有効回答数:55

EDIを導入していない理由	回答数	構成比
EDI導入のコストが高い	17	30.9%
EDI導入の効果が見えない	23	41.8%
EDI導入に詳しいシステムベンダ,ソフトウェア業者に関する情報がない	10	18.2%
EDI標準フォーマットなど業界共通の標準がない	17	30.9%
社内にEDIに詳しい人材がない	14	25.5%
既取引先と独自手法(紙ベースなど)がある	9	16.4%
社内システムとデータフォーマットが合わず連携がとりにくい	13	23.6%
複数(顧客ごと)のシステムが導入されるようになってしまう	10	18.2%
取引先が貴社(ご回答部門)の情報セキュリティについて不安を持っている	2	3.6%
貴社(ご回答部門)が取引先の情報セキュリティについて不安を持っている	0	0.0%
その他	4	7.3%

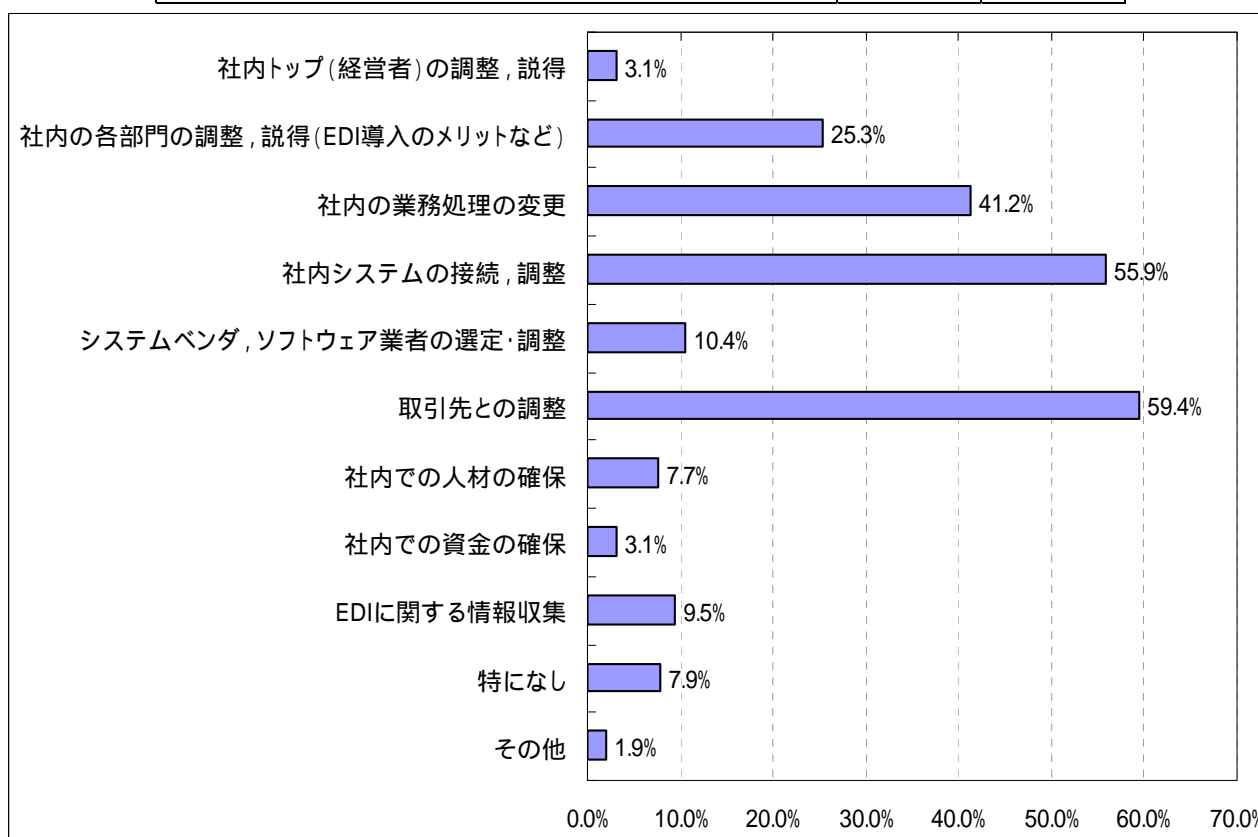


「EDI導入の効果が見えない」が41.8%と突出して多く、「EDI導入のコストが高い」、「EDI標準フォーマットなど業界共通の標準がない」、「社内にEDIに詳しい人材がない」を挙げる企業もそれぞれ25%以上存在する。

問9 問7で「全ての取引先と行っている」または「一部の取引先と行っている」とお答えの方に伺います。EDIを始める際、または拡大する際に苦労した(苦労している)点についてお答え下さい。(3つまで選択)

…有効回答数:517

苦労した(苦労している)点	回答数	構成比
社内トップ(経営者)の調整, 説得	16	3.1%
社内の各部門の調整, 説得(EDI導入のメリットなど)	131	25.3%
社内の業務処理の変更	213	41.2%
社内システムの接続, 調整	289	55.9%
システムベンダ, ソフトウェア業者の選定・調整	54	10.4%
取引先との調整	307	59.4%
社内での人材の確保	40	7.7%
社内での資金の確保	16	3.1%
EDIに関する情報収集	49	9.5%
特になし	41	7.9%
その他	10	1.9%

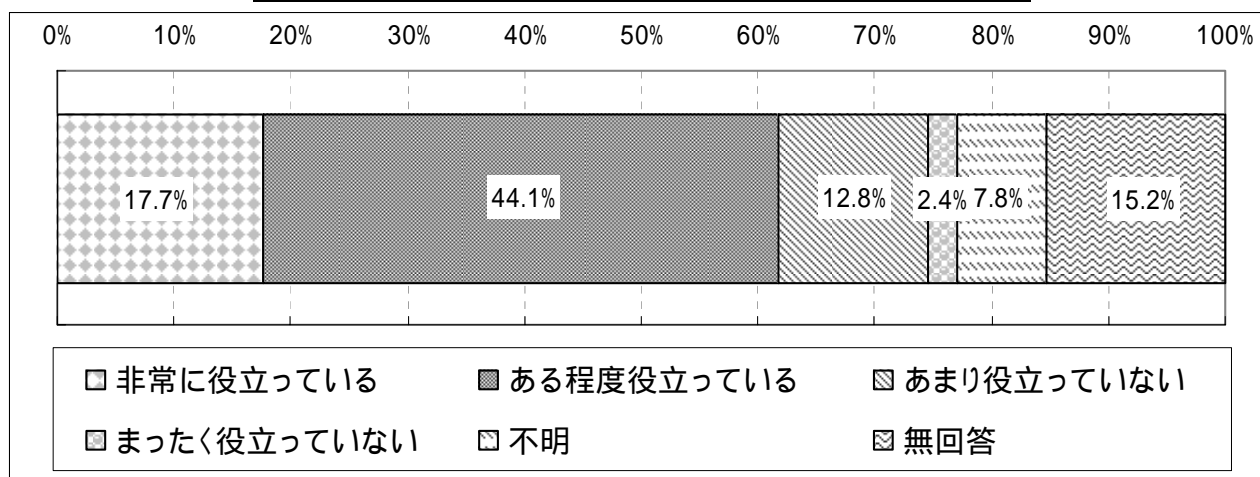


「取引先との調整」が 59.4%ともっとも多いが、以下、「社内システムの接続, 調整」、「社内の業務処理の変更」、「社内の各部門の調整, 説得」など、社内における各種調整を挙げる声も多く、社内・社外両面で調整に苦労している様子が伺える。また、苦労した点が「特になし」はわずか 7.9%であった。

問10 EDI の導入は IT 経営や業務改革 , 売り上げの拡大等に役立っていますか。(1 つ選択)

…有効回答数:656

EDI 導入効果の認識	回答数	構成比
非常に役立っている	116	17.7%
ある程度役立っている	289	44.1%
あまり役立っていない	84	12.8%
まったく役立っていない	16	2.4%
不明	51	7.8%
無回答	100	15.2%
合計	656	100.0%



「有る程度役立っている」とする企業が 44.1%、「非常に役立っている」とする企業が 17.7%と、役立っていると回答した企業が 6 割以上を占めている。逆に、EDI の効果に否定的な 40%弱の企業は、取引先からの要請などで、仕方なく EDI に「おつきあい」をしているものの、自社内での EDI データの活用など、自らのメリットが出る使い方が出来ていないことが想像される。

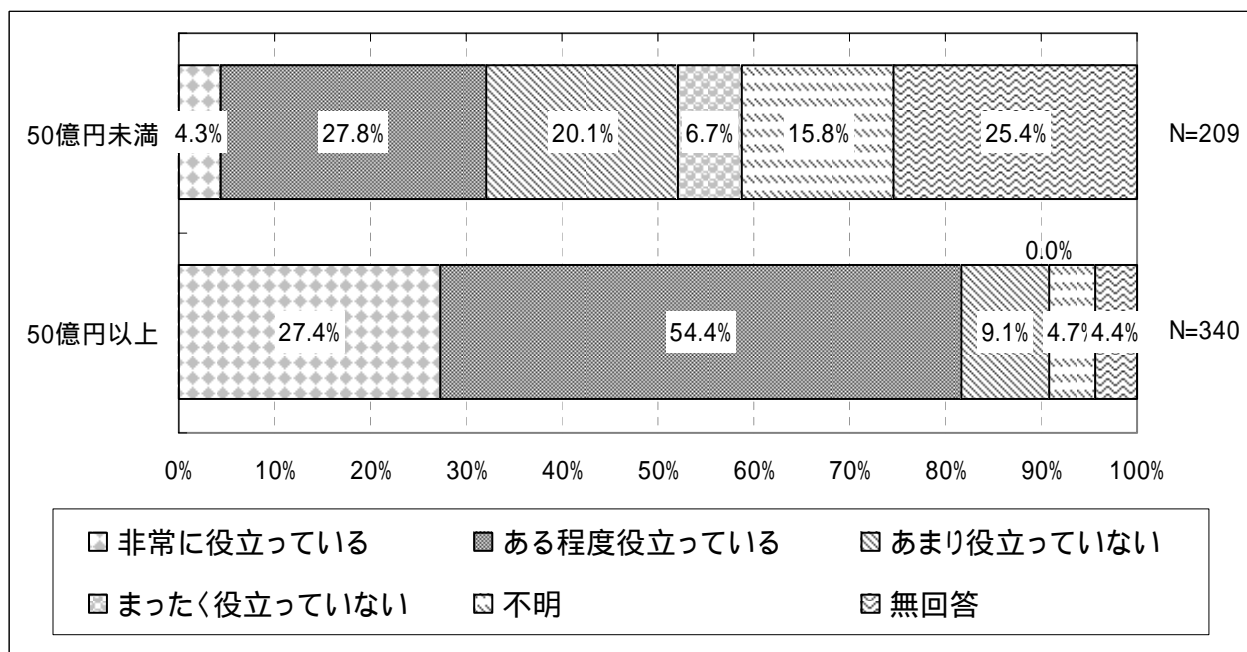
クロス集計 問2(売上高) × 問10

効果認識 売上高	N	非常に 役立っている	ある程度 役立っている	あまり 役立って いない	まったく 役立って いない	不明	無回答
100万円未満	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
100万円以上 1千万円未満	2	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
1千万円以上 5千万円未満	2	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%
5千万円以上 1億円未満	7	0.0%	28.6%	28.6%	0.0%	28.6%	14.3%
1億円以上 5億円未満	28	3.6%	14.3%	10.7%	10.7%	35.7%	25.0%
5億円以上 10億円未満	50	2.0%	28.0%	16.0%	10.0%	8.0%	36.0%
10億円以上 50億円未満	120	5.0%	31.7%	22.5%	5.0%	14.2%	21.7%
50億円以上 100億円未満	37	18.9%	45.9%	10.8%	0.0%	13.5%	10.8%
100億円以上 500億円未満	99	16.2%	59.6%	8.1%	0.0%	7.1%	9.1%
500億円以上 1千億円未満	47	25.5%	59.6%	8.5%	0.0%	6.4%	0.0%
1千億円以上	157	36.9%	51.6%	9.6%	0.0%	0.6%	1.3%

(次ページに続く)

問2(売上高セグメント) × 問10

効果認識 売上高	N	非常に 役立っている	ある程度 役立っている	あまり 役立っていない	まったく 役立っていない	不明	無回答
50億円未満	209	4.3%	27.8%	20.1%	6.7%	15.8%	25.4%
50億円以上	340	27.4%	54.4%	9.1%	0.0%	4.7%	4.4%



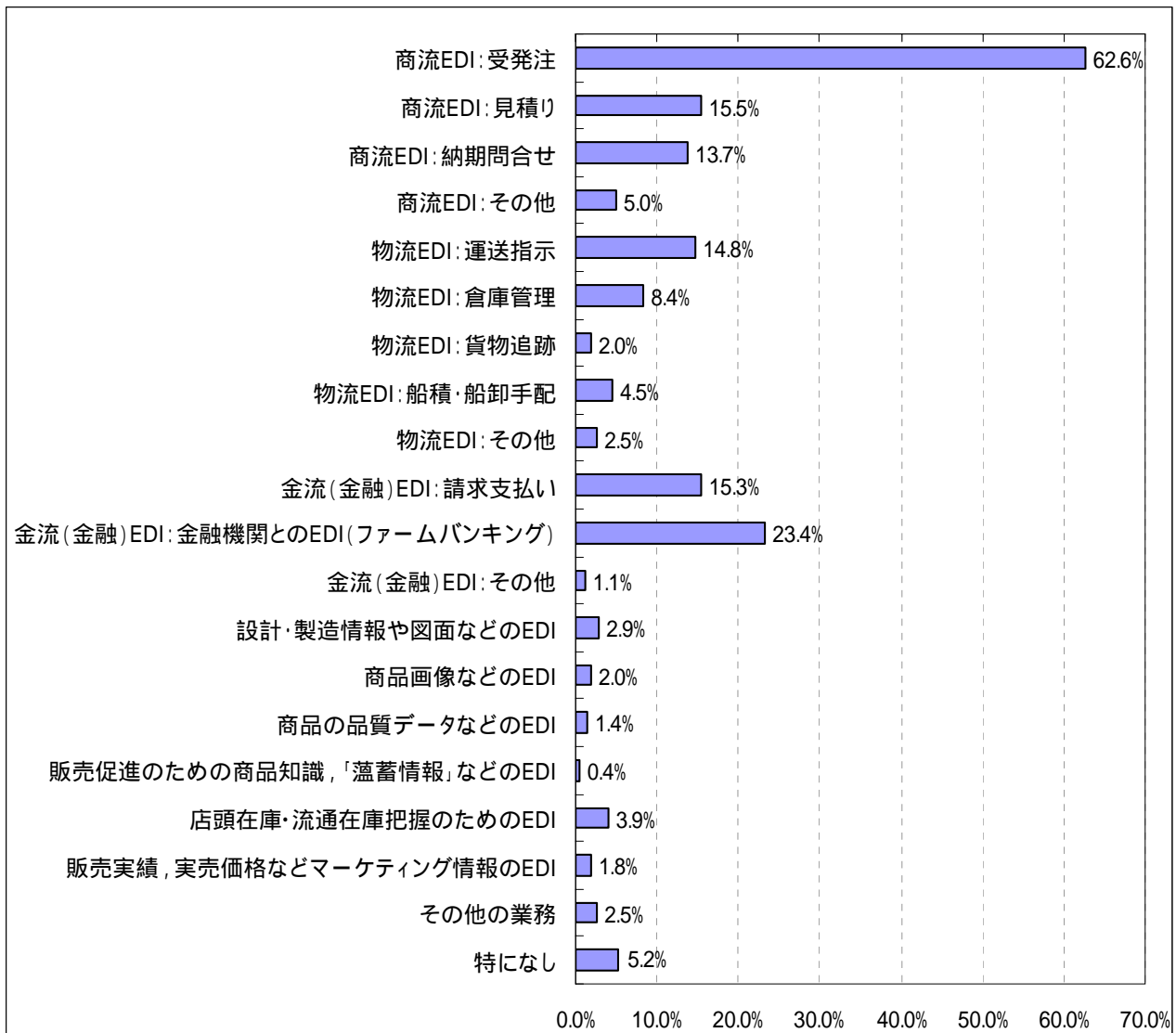
売上高 50 億円以上の企業では、「非常に役立っている」と「ある程度役立っている」を合わせると 8 割(81.8%)を超えているのに対し、売上高 50 億円未満では 3 割程度(32.1%)に止まる。一方で、「あまり役立っていない」と「まったく役立っていない」の合計は売上高 50 億円以上の 9.1%に対し、売上高 50 億円未満では 26.8%となっている。

EDI の効果に対する認識には企業の売上高規模によって大きな開きがあり、規模の小さい企業ほど、EDI を導入していても効果を実感できないという状況にある。

問11 現在どのような業務にEDIを導入していますか。主なものをお答えください。(3つまで選択)
 ……有効回答数:561

EDIを導入している業務	回答数	構成比
商流EDI:受発注	351	62.6%
商流EDI:見積り	87	15.5%
商流EDI:納期間合せ	77	13.7%
商流EDI:その他	28	5.0%
物流EDI:運送指示	83	14.8%
物流EDI:倉庫管理	47	8.4%
物流EDI:貨物追跡	11	2.0%
物流EDI:船積・船卸手配	25	4.5%
物流EDI:その他	14	2.5%
金流(金融)EDI:請求支払い	86	15.3%
金流(金融)EDI:金融機関とのEDI(ファームバンキング)	131	23.4%
金流(金融)EDI:その他	6	1.1%
設計・製造情報や図面などのEDI	16	2.9%
商品画像などのEDI	11	2.0%
商品の品質データなどのEDI	8	1.4%
販売促進のための商品知識、「蒔蓄情報」などのEDI	2	0.4%
店頭在庫・流通在庫把握のためのEDI	22	3.9%
販売実績,実売価格などマーケティング情報のEDI	10	1.8%
その他の業務	14	2.5%
特になし	29	5.2%

(次ページに続く)



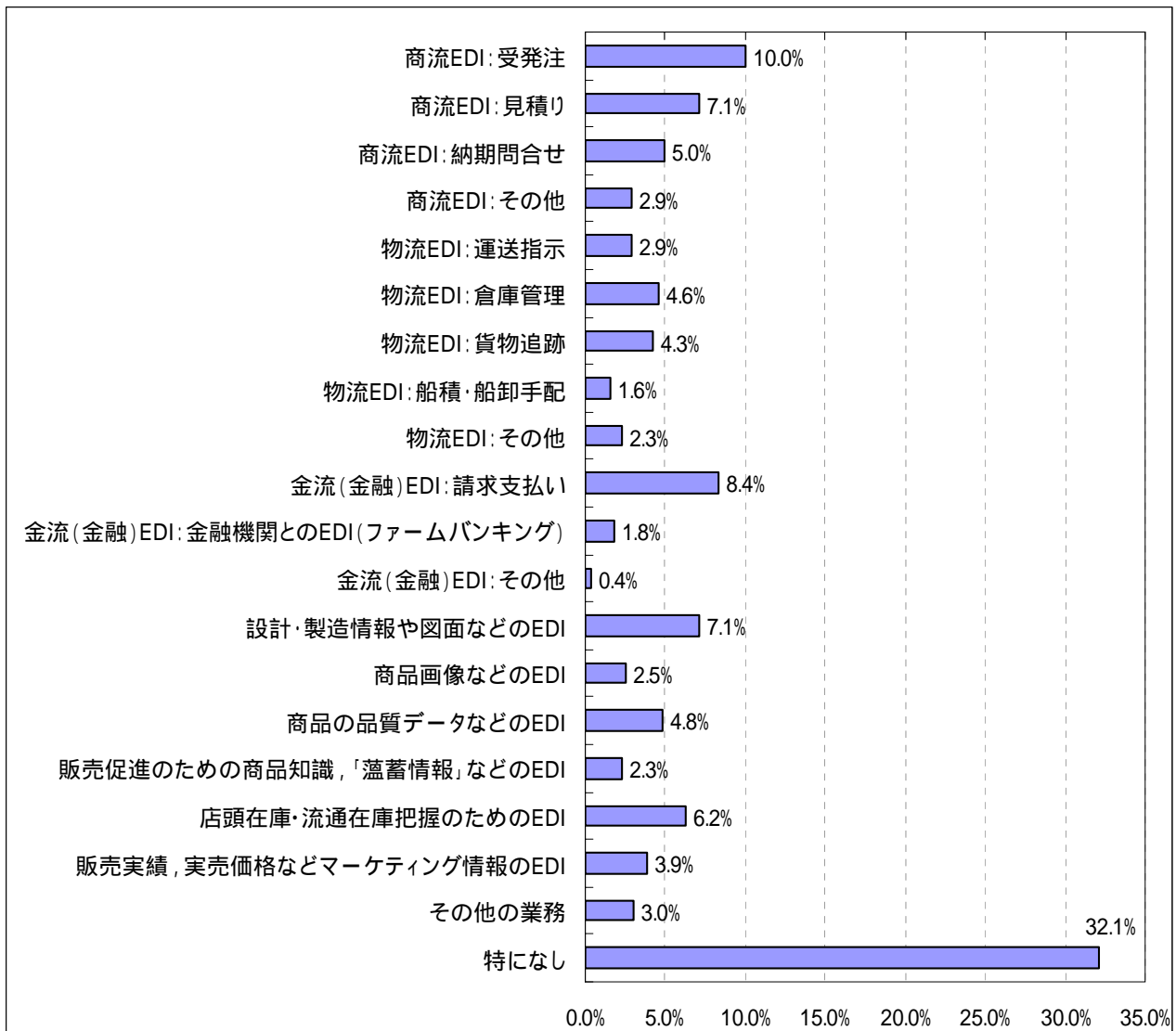
「商流 EDI:受発注」に利用していると回答した企業が 62.6%と突出しており、多くの受発注を主な目的として EDI を導入していることが分かる。金流(金融)EDI、物流 EDI もある程度導入されている反面、その他の用途にはさほど用いられていない。商流や金流、物流などは多くの企業で行われているのに対し、設計・製造情報や店頭在庫・物流在庫把握などは、そもそも行われている企業が限られていることも大きく影響していると思われる。

問12 今後新たにEDI導入を考えた(考えている)業務がありますか。主なものをお答えください。
(3つまで選択)

…有効回答数:561

EDI導入を考えた(考えている)業務	回答数	構成比
商流EDI:受発注	56	10.0%
商流EDI:見積り	40	7.1%
商流EDI:納期間合せ	28	5.0%
商流EDI:その他	16	2.9%
物流EDI:運送指示	16	2.9%
物流EDI:倉庫管理	26	4.6%
物流EDI:貨物追跡	24	4.3%
物流EDI:船積・船卸手配	9	1.6%
物流EDI:その他	13	2.3%
金流(金融)EDI:請求支払い	47	8.4%
金流(金融)EDI:金融機関とのEDI(ファームバンキング)	10	1.8%
金流(金融)EDI:その他	2	0.4%
設計・製造情報や図面などのEDI	40	7.1%
商品画像などのEDI	14	2.5%
商品の品質データなどのEDI	27	4.8%
販売促進のための商品知識、「蒔蓄情報」などのEDI	13	2.3%
店頭在庫・流通在庫把握のためのEDI	35	6.2%
販売実績,実売価格などマーケティング情報のEDI	22	3.9%
その他の業務	17	3.0%
特になし	180	32.1%

(次ページに続く)

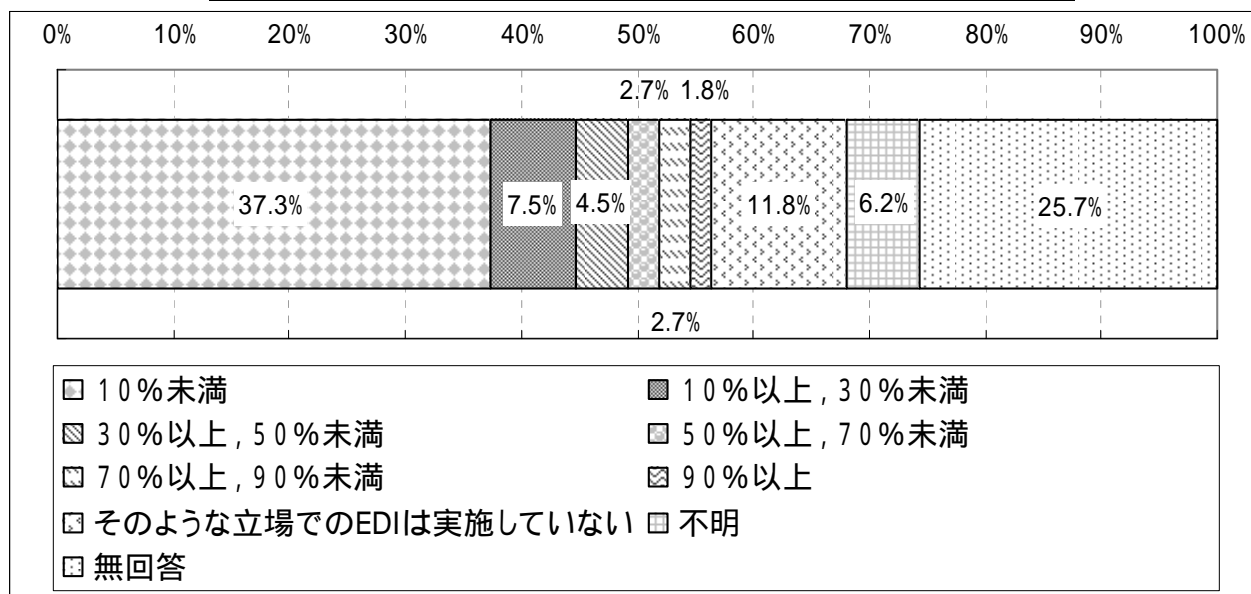


「特になし」とした企業が 32.1%と最も高く、その他は「商流 EDI: 受発注」が 1 割にようやく届く程度で、おしなべて少ない。各社とも、EDI を導入することが目的ではなく、業務ニーズを満たすことが目的で EDI を導入していることを鑑みれば、当然の結果と言える。

問13 貴社(ご回答部門)が受注者の立場で EDI を実施している場合,取引先社数の何%と EDI 取引を実施していますか。(1つ選択)

…有効回答数:561

EDI 実施の取引先社数比率	回答数	構成比
10%未満	209	37.3%
10%以上, 30%未満	42	7.5%
30%以上, 50%未満	25	4.5%
50%以上, 70%未満	15	2.7%
70%以上, 90%未満	15	2.7%
90%以上	10	1.8%
そのような立場での EDI は実施していない	66	11.8%
不明	35	6.2%
無回答	144	25.7%
合計	561	100.0%

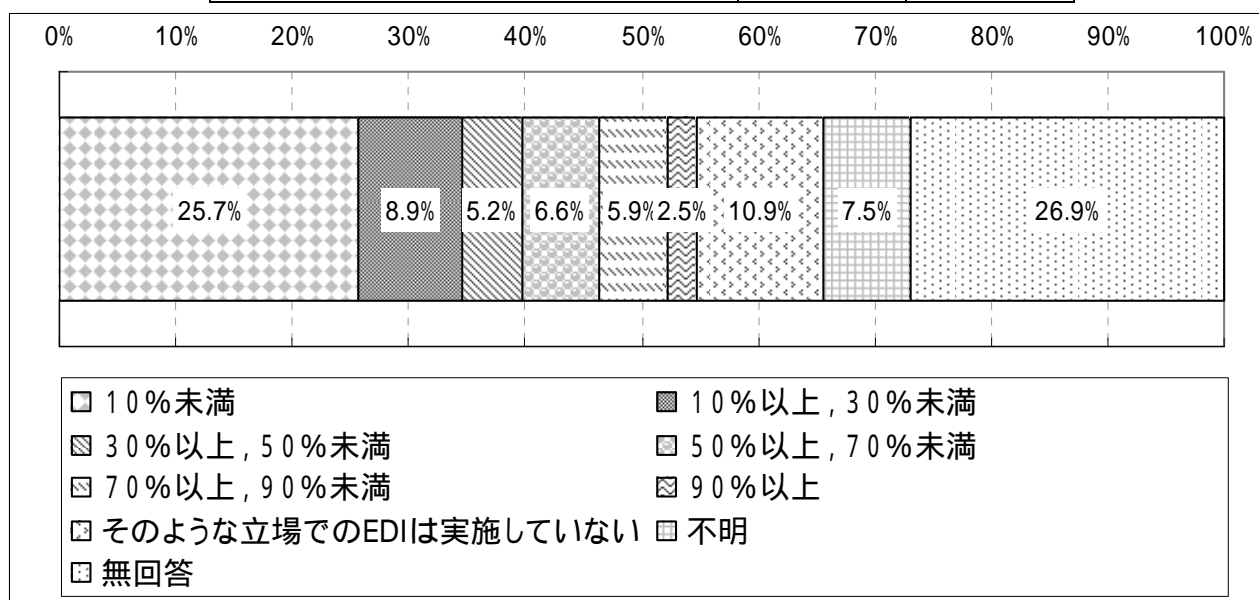


「10%未満」が 37.3%と最も高い。受注業務における EDI の利用は、各々の企業において極めて限定的な手段であることが分かる。

問14 貴社(ご回答部門)が受注者の立場で EDI を実施している場合, 受注件数の何%が EDI で取引されていますか。(1つ選択)

…有効回答数:561

EDI 実施の受注件数比率	回答数	構成比
10%未満	144	25.7%
10%以上, 30%未満	50	8.9%
30%以上, 50%未満	29	5.2%
50%以上, 70%未満	37	6.6%
70%以上, 90%未満	33	5.9%
90%以上	14	2.5%
そのような立場での EDI は実施していない	61	10.9%
不明	42	7.5%
無回答	151	26.9%
合計	561	100.0%

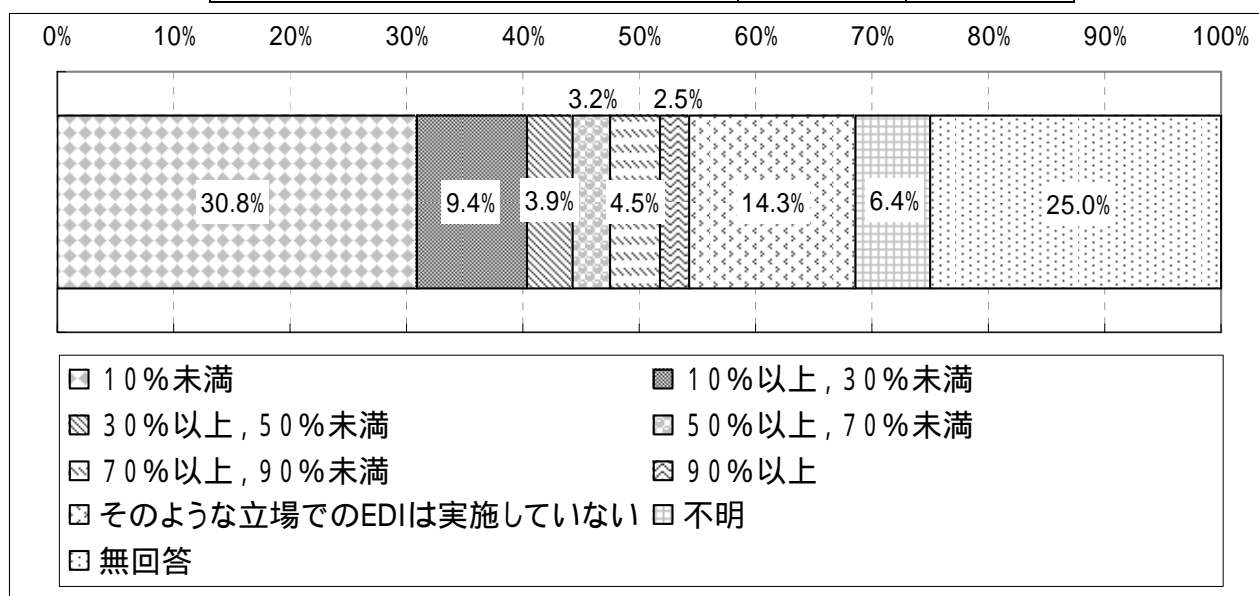


問13の結果と同様、「10%未満」が25.7%と最も高い。ただし、問13より「10%未満」の占める比率は減少していることから、EDIはどちらかというと受注件数の多い取引先(いわゆる大口の御得意様)との間で用いられていることが分かる。

問15 貴社(ご回答部門)が発注者の立場で EDI を実施している場合、取引先社数の何%と EDI 取引を実施していますか。(1つ選択)

…有効回答数:561

EDI 実施の取引先社数比率	回答数	構成比
10%未満	173	30.8%
10%以上, 30%未満	53	9.4%
30%以上, 50%未満	22	3.9%
50%以上, 70%未満	18	3.2%
70%以上, 90%未満	25	4.5%
90%以上	14	2.5%
そのような立場での EDI は実施していない	80	14.3%
不明	36	6.4%
無回答	140	25.0%
合計	561	100.0%

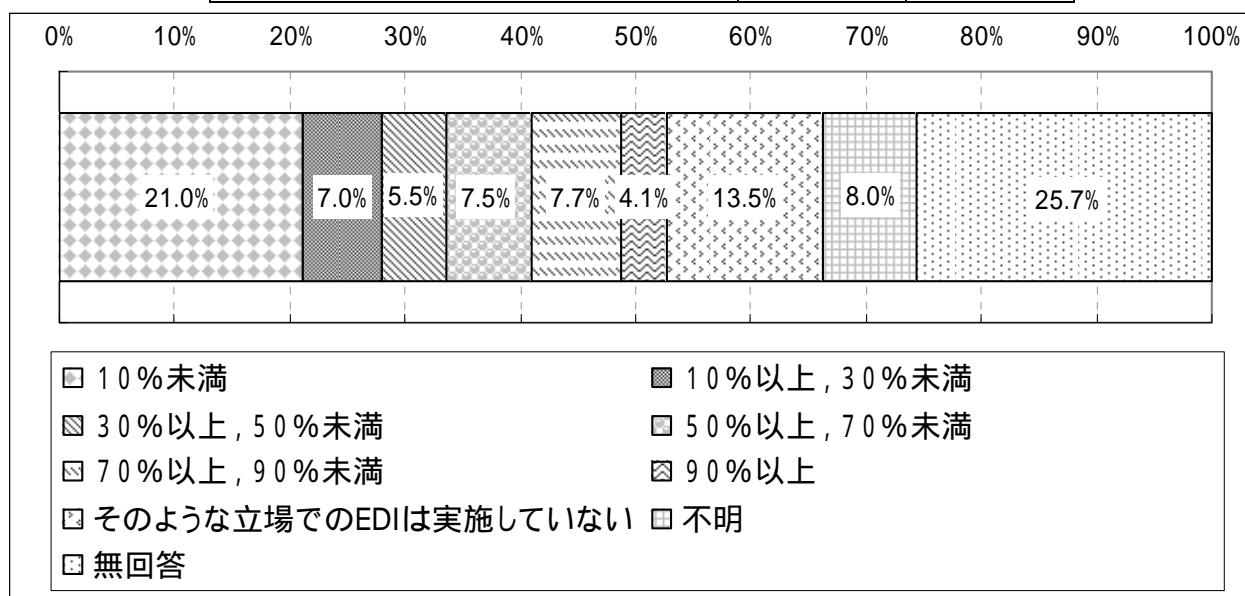


発注に目を向けても、受注の場合とそれほど傾向は変わらず、「10%未満」が 30.8%と最も高い。発注も受注と同様、EDI は極めて限定的に用いられていると言える。

問16 貴社(ご回答部門)が発注者の立場で EDI を実施している場合、発注件数の何%が EDI で取引されていますか。(1つ選択)

…有効回答数:561

EDI 実施の発注件数比率	回答数	構成比
10%未満	118	21.0%
10%以上, 30%未満	39	7.0%
30%以上, 50%未満	31	5.5%
50%以上, 70%未満	42	7.5%
70%以上, 90%未満	43	7.7%
90%以上	23	4.1%
そのような立場での EDI は実施していない	76	13.5%
不明	45	8.0%
無回答	144	25.7%
合計	561	100.0%

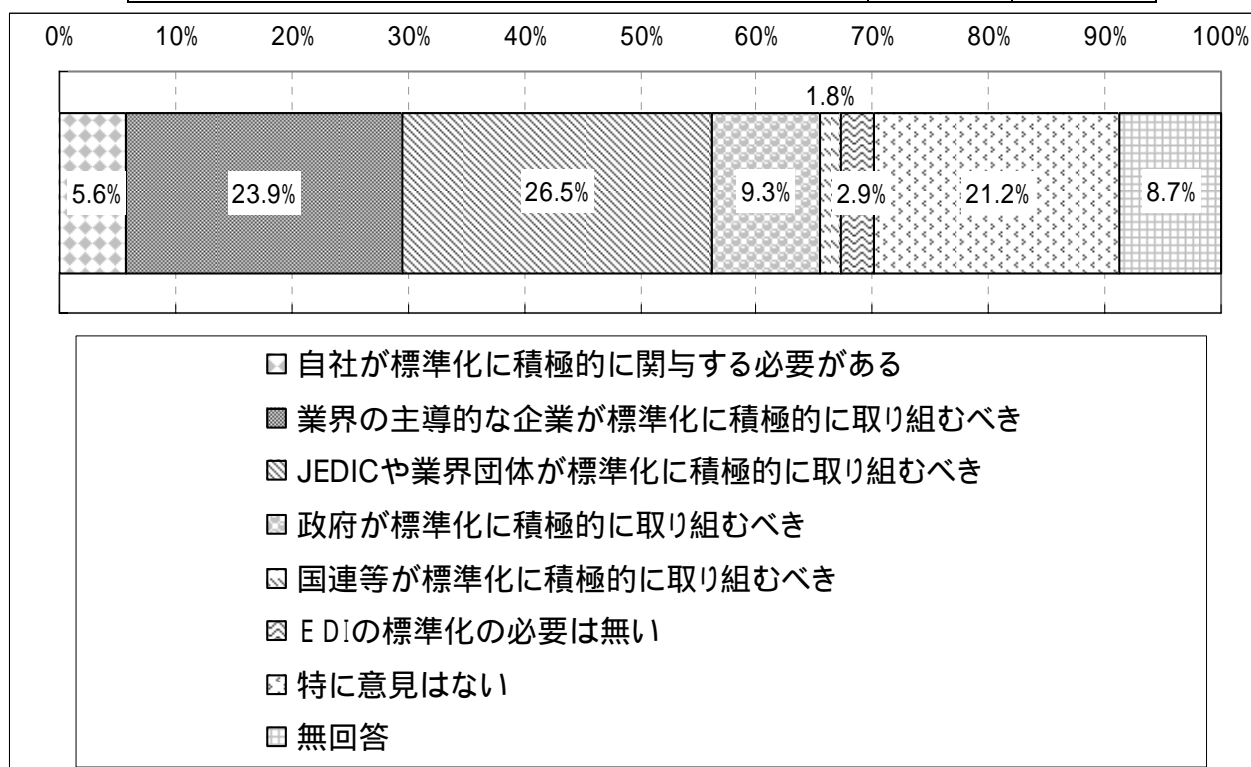


「10%未満」が 21.0%と、取引社数で「10%未満」が占める比率に比べ低くなっている。一方で、「70%以上, 90%未満」が 7.7%など、発注件数のかなりの部分を EDI で取引している企業も少なくない。

問17 EDI の標準化についてどのようにお考えですか。(1つ選択)

…有効回答数:656

EDI 標準化について	回答数	構成比
自社が標準化に積極的に関与する必要がある	37	5.6%
業界の主導的な企業が標準化に積極的に取り組むべき	157	23.9%
JEDIC や業界団体が標準化に積極的に取り組むべき	174	26.5%
政府が標準化に積極的に取り組むべき	61	9.3%
国連等が標準化に積極的に取り組むべき	12	1.8%
EDIの標準化の必要は無い	19	2.9%
特に意見はない	139	21.2%
無回答	57	8.7%
合計	656	100.0%

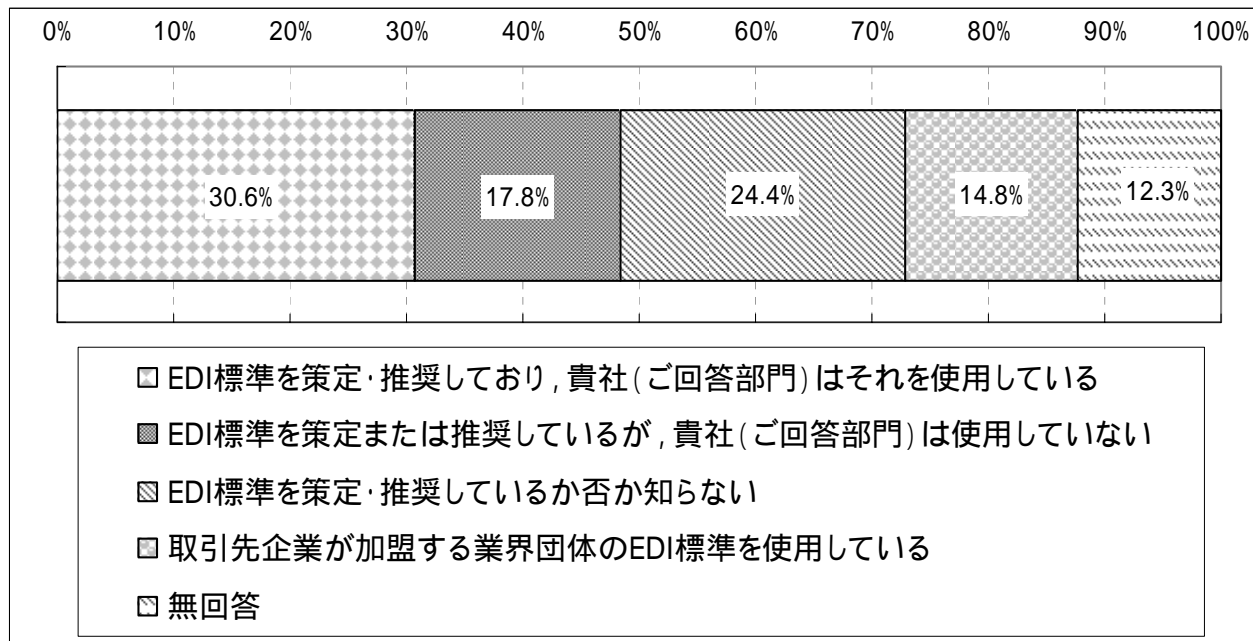


「JEDIC や業界団体が標準化に積極的に取り組むべき」とする企業が 26.5%と最も多く、「業界の主導的な企業が標準化に積極的に取り組むべき」とする企業が23.9%と合わせると過半数を超える。「EDI の標準化の必要は無い」は 2.9%と低いことから、各社とも EDI 標準化の取り組みは不可欠と考えていながらも、何れかの企業・団体が主導的な役割を果たしてくれることを期待している。

問18 貴社(ご回答部門)が所属する業界の EDI 標準についてお答えください。(1つ選択)

…有効回答数:656

所属業界の EDI 標準について	回答数	構成比
EDI 標準を策定・推奨しており、貴社(ご回答部門)はそれを使用している	201	30.6%
EDI 標準を策定または推奨しているが、貴社(ご回答部門)は使用していない	117	17.8%
EDI 標準を策定・推奨しているか否か知らない	160	24.4%
取引先企業が加盟する業界団体の EDI 標準を使用している	97	14.8%
無回答	81	12.3%
合計	656	100.0%

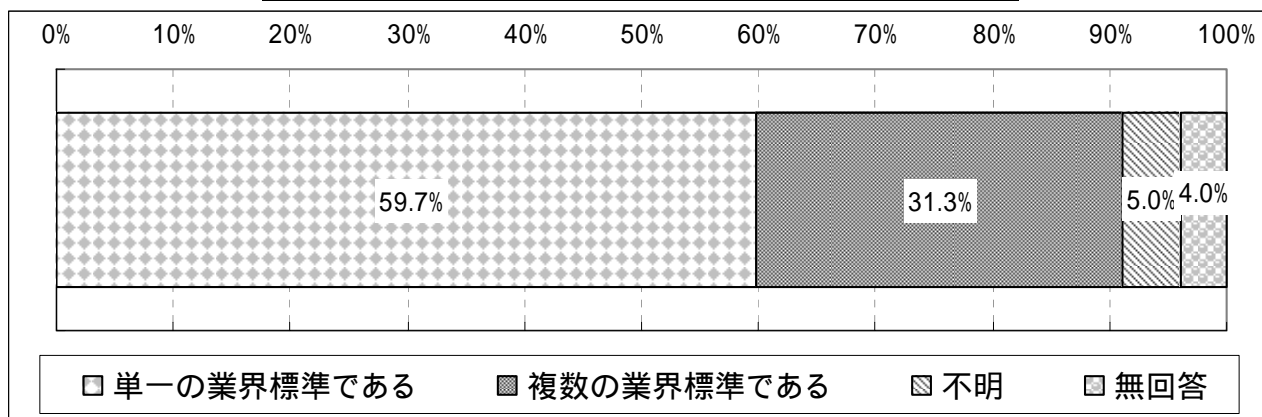


「EDI 標準を策定・推奨しており、それを使用している」とする企業が 30.6%と最も多い一方で、「EDI 標準を策定・推奨しているか否か知らない」と回答した企業も 24.4%に達しており、業界によって、あるいは企業規模の大小などによって、EDI 標準化の取り組みや、それをキャッチアップしようとする企業の動きにはバラツキが見られる。

問19 問 18 で「EDI 標準を策定・推奨しており、貴社(ご回答部門)はそれを使用している」とお答えの方に伺います。ご使用の業界標準は単一の標準ですか、それとも複数の業界の標準を併用していますか。(1つ選択)

…有効回答数:201

使用している業界標準	回答数	構成比
単一の業界標準である	120	59.7%
複数の業界標準である	63	31.3%
不明	10	5.0%
無回答	8	4.0%
合計	201	100.0%

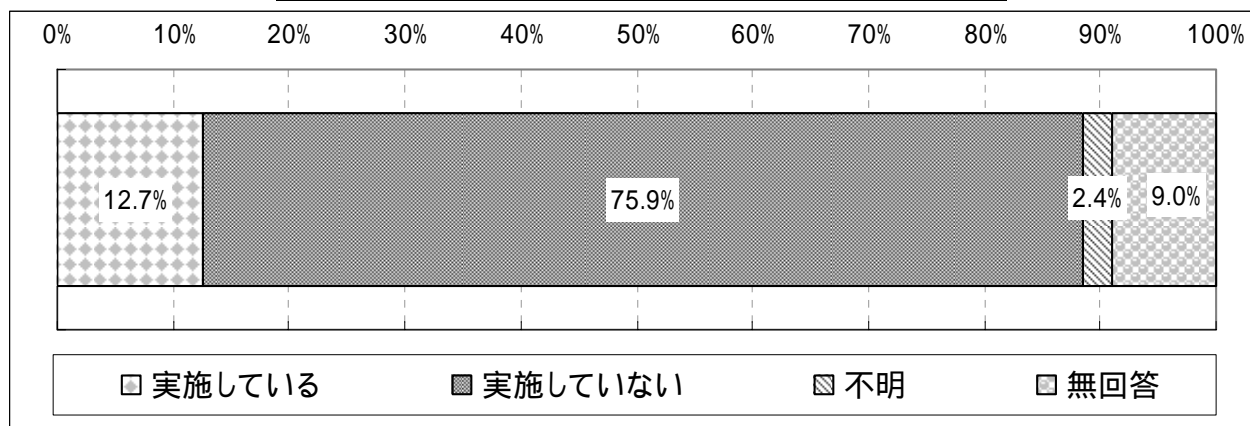


「単一の業界標準である」とする企業が59.7%と過半数を占めているが、「複数の業界標準である」は31.3%と1/3に達しており、複数の標準へ対応している企業も決して少なくない。

問20 貴社(ご回答部門)では海外の企業と直接 EDI を実施していますか。(1 つ選択)

…有効回答数:656

海外企業との直接 EDI	回答数	構成比
実施している	83	12.7%
実施していない	498	75.9%
不明	16	2.4%
無回答	59	9.0%
合計	656	100.0%



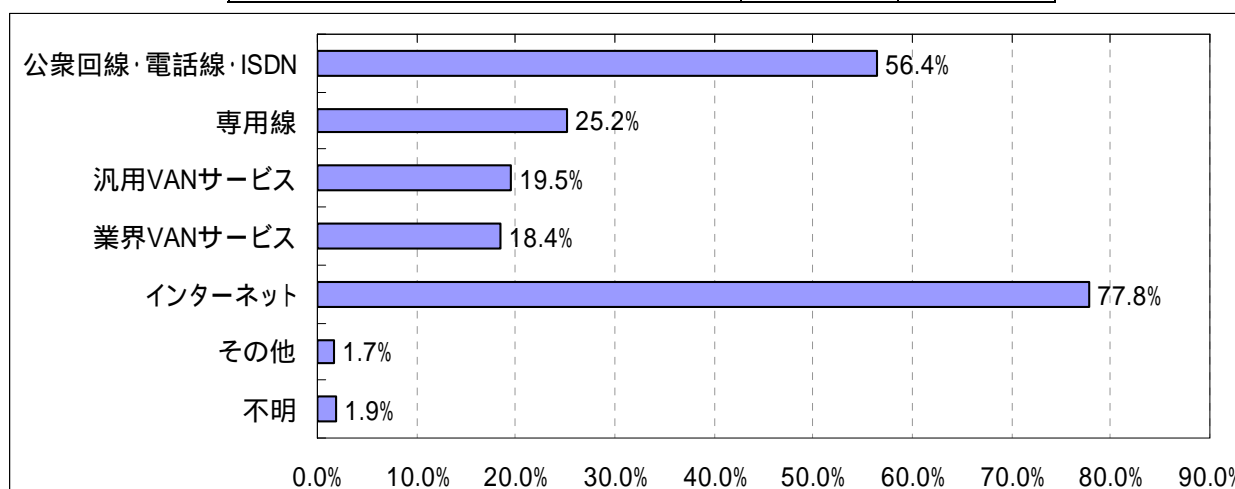
「実施していない」とする企業が 75.9%と、圧倒的に多い。一方で「実施している」は 1 割を超えた程度に止まっており、まだ海外企業との直接 EDI の取り組みは極めて限定的に行われていると言える。

2.3 EDI 活用の実態 ～技術面

問1 現在 EDI にご使用の通信ネットワークは何ですか。主要なものをお答えください。(3 つまで
選択)

…有効回答数:532

EDI で使用している通信ネットワーク	回答数	構成比
公衆回線・電話線・ISDN	300	56.4%
専用線	134	25.2%
汎用 VAN サービス	104	19.5%
業界 VAN サービス	98	18.4%
インターネット	414	77.8%
その他	9	1.7%
不明	10	1.9%

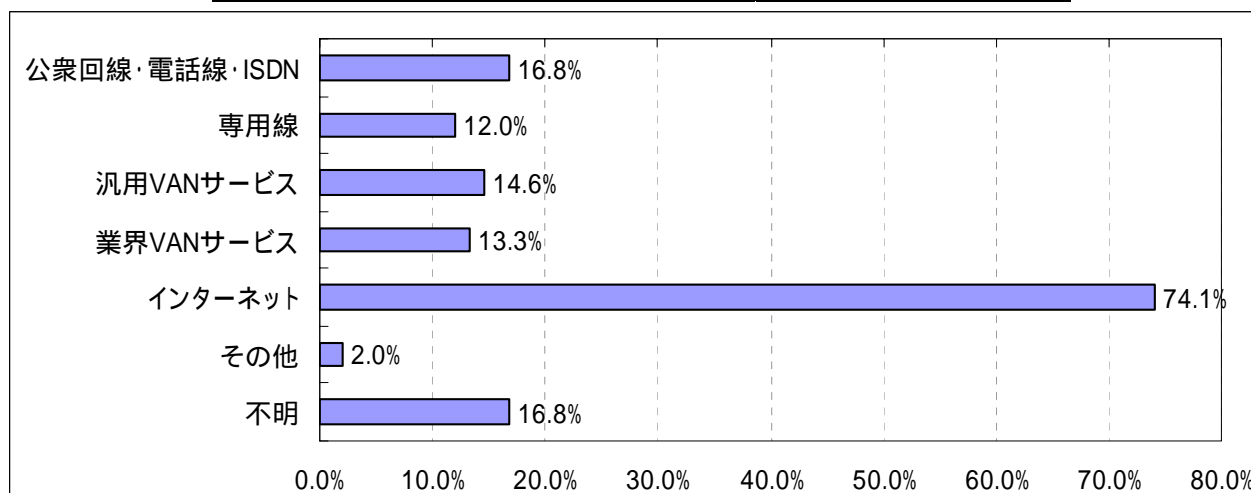


「インターネット」が8割近くに達しており、急速に普及している。次いで「公衆回線・電話線・ISDN」も半数を超えているが、一方で、「専用線」や「汎用 VAN サービス」、「業界 VAN サービス」も依然として利用者が多い。

問2 今後 EDI にご使用を検討されている通信ネットワークは何ですか。主要なものをお答えください。(3 つまで選択)

…有効回答数:459

EDI に使用を検討している通信ネットワーク	回答数	構成比
公衆回線・電話線・ISDN	77	16.8%
専用線	55	12.0%
汎用 VAN サービス	67	14.6%
業界 VAN サービス	61	13.3%
インターネット	340	74.1%
その他	9	2.0%
不明	77	16.8%

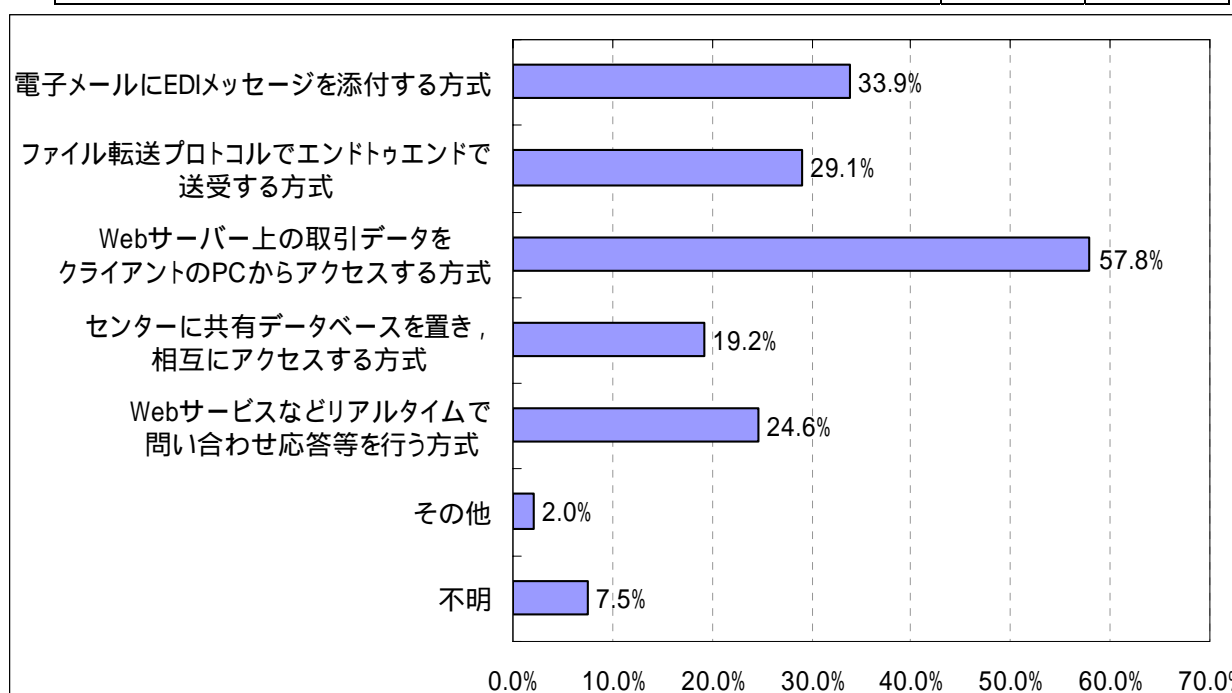


「インターネット」が 74.1%と突出して高く、今後の EDI の基盤ネットワークとして高い期待を集めている。また、特に「専用線」などは 1 割前後と低く、インターネットが今後ますます EDI のネットワークとして引き続き重要度を増してくることが予想される。

問3 問1または問2でインターネットとご回答の方にお伺いします。インターネットを使用したEDIの方式はどれですか。主要なものをお答えください。(3つまで選択)

…有効回答数:495

インターネットを使用したEDIの方式	回答数	構成比
電子メールにEDIメッセージを添付する方式	168	33.9%
ファイル転送プロトコルでエンドトゥエンドで送受する方式	144	29.1%
Webサーバー上の取引データをクライアントのPCからアクセスする方式	286	57.8%
センターに共有データベースを置き、相互にアクセスする方式	95	19.2%
Webサービスなどリアルタイムで問い合わせ応答等を行う方式	122	24.6%
その他	10	2.0%
不明	37	7.5%

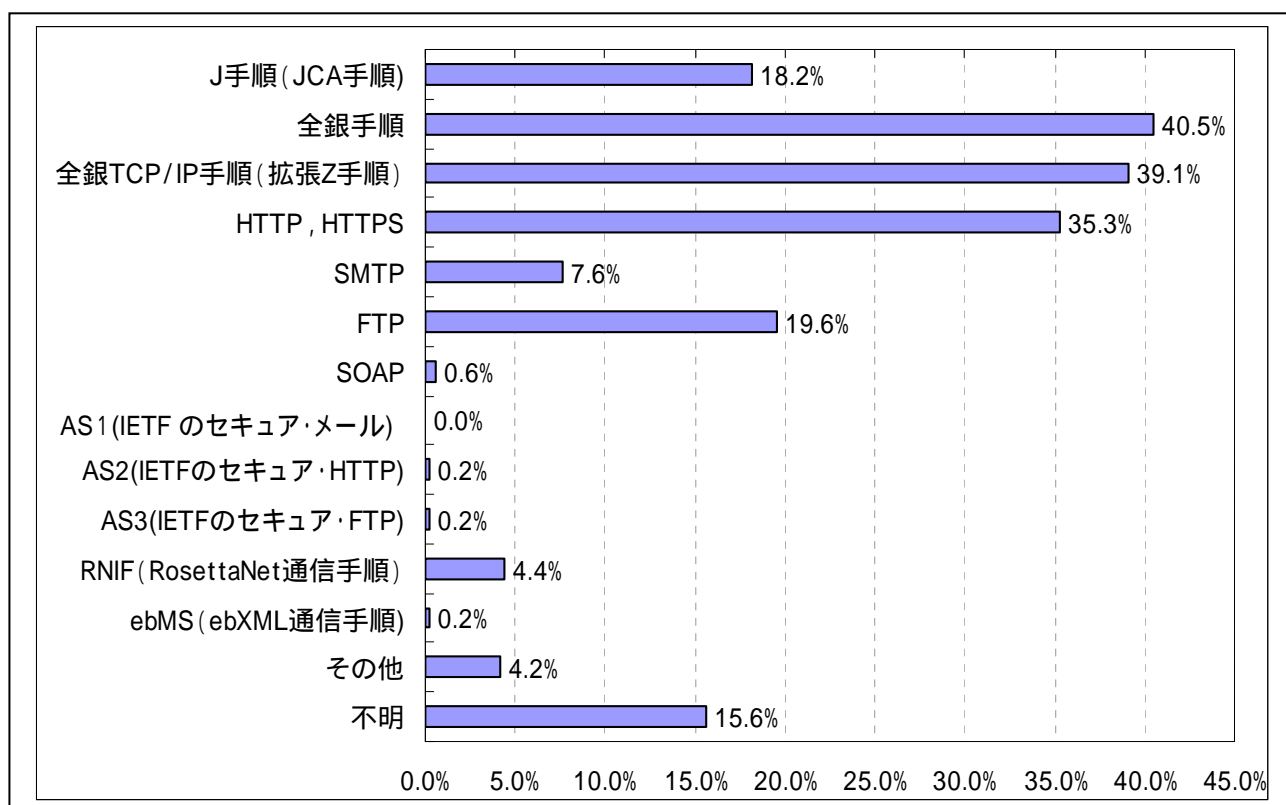


「Webサーバー上の取引データをクライアントのPCからアクセスする方式」が57.8%と最も高く、「電子メールにEDIメッセージを添付する方式」が33.9%と、いずれも情報交換に人手を介する方式が上位を占めている。一方で、「ファイル転送プロトコルでエンドトゥエンドで送受する方式」が29.1%など、人手を介さない方法の利用実績あるいは期待も、決して少なくない。

問4 現在 EDI にご使用の通信プロトコルは何ですか。主要なものをお答えください。(3 つまで選択)

…有効回答数:501

EDI に使用している通信プロトコル	回答数	構成比
J 手順 (JCA 手順)	91	18.2%
全銀手順	203	40.5%
全銀 TCP/IP 手順 (拡張 Z 手順)	196	39.1%
HTTP, HTTPS	177	35.3%
SMTP	38	7.6%
FTP	98	19.6%
SOAP	3	0.6%
AS1 (IETF のセキュア・メール)	0	0.0%
AS2 (IETF のセキュア・HTTP)	1	0.2%
AS3 (IETF のセキュア・FTP)	1	0.2%
RNIF (RosettaNet 通信手順)	22	4.4%
ebMS (ebXML 通信手順)	1	0.2%
その他	21	4.2%
不明	78	15.6%

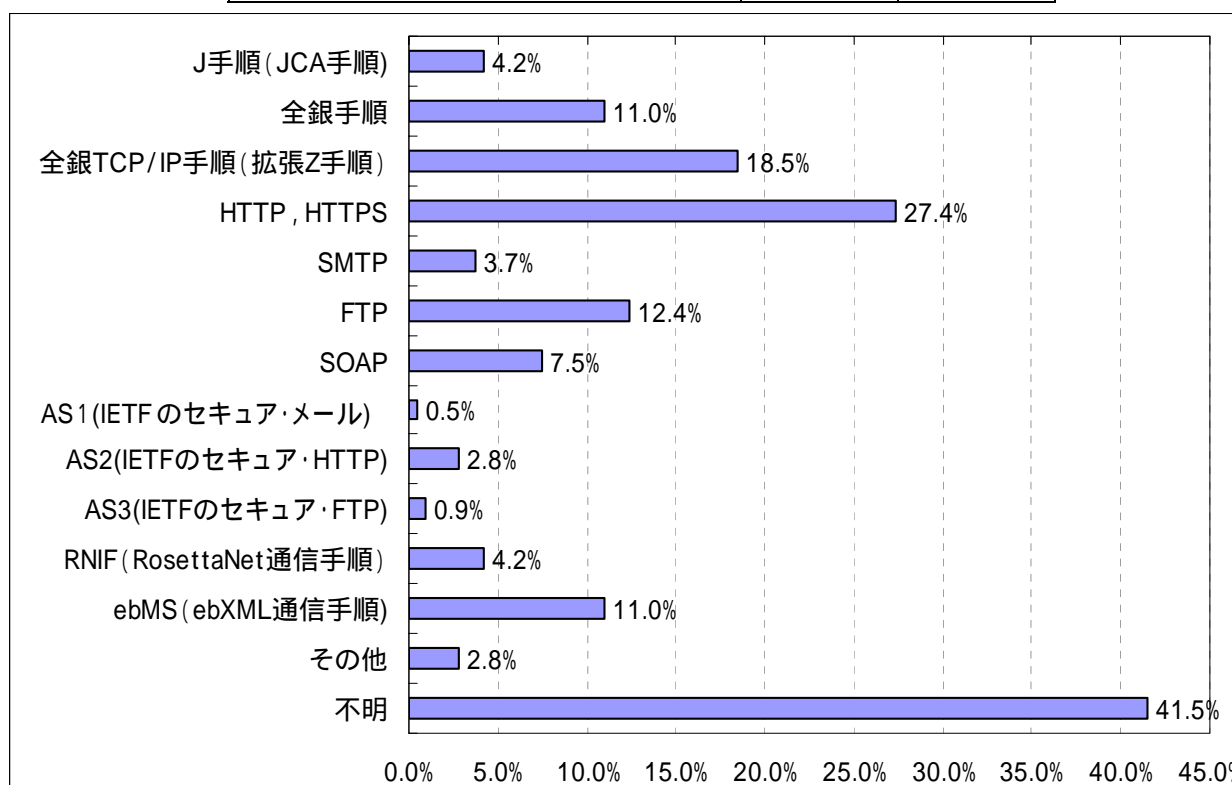


「全銀手順」が 40.5%と最も多いが、「全銀 TCP/IP 手順 (拡張 Z 手順)」が 39.1%、「HTTP, HTTPS」が 35.3%と、インターネットベースのプロトコルの利用も進んでいる。一方で、「AS2」が 0.2%、ebMS が 0.2%など、プロトコルによって利用されているもの、利用されていないものが非常に極端に分かれている。

問5 今後 EDI にご使用を検討されている通信プロトコルは何ですか。主要なものをお答えください。(3 つまで選択)

…有効回答数:427

EDI に使用を検討している通信プロトコル	回答数	構成比
J 手順(JCA 手順)	18	4.2%
全銀手順	47	11.0%
全銀 TCP/IP 手順(拡張 Z 手順)	79	18.5%
HTTP , HTTPS	117	27.4%
SMTP	16	3.7%
FTP	53	12.4%
SOAP	32	7.5%
AS1(IETF のセキュア・メール)	2	0.5%
AS2(IETF のセキュア・HTTP)	12	2.8%
AS3(IETF のセキュア・FTP)	4	0.9%
RNIF (RosettaNet 通信手順)	18	4.2%
ebMS (ebXML 通信手順)	47	11.0%
その他	12	2.8%
不明	177	41.5%

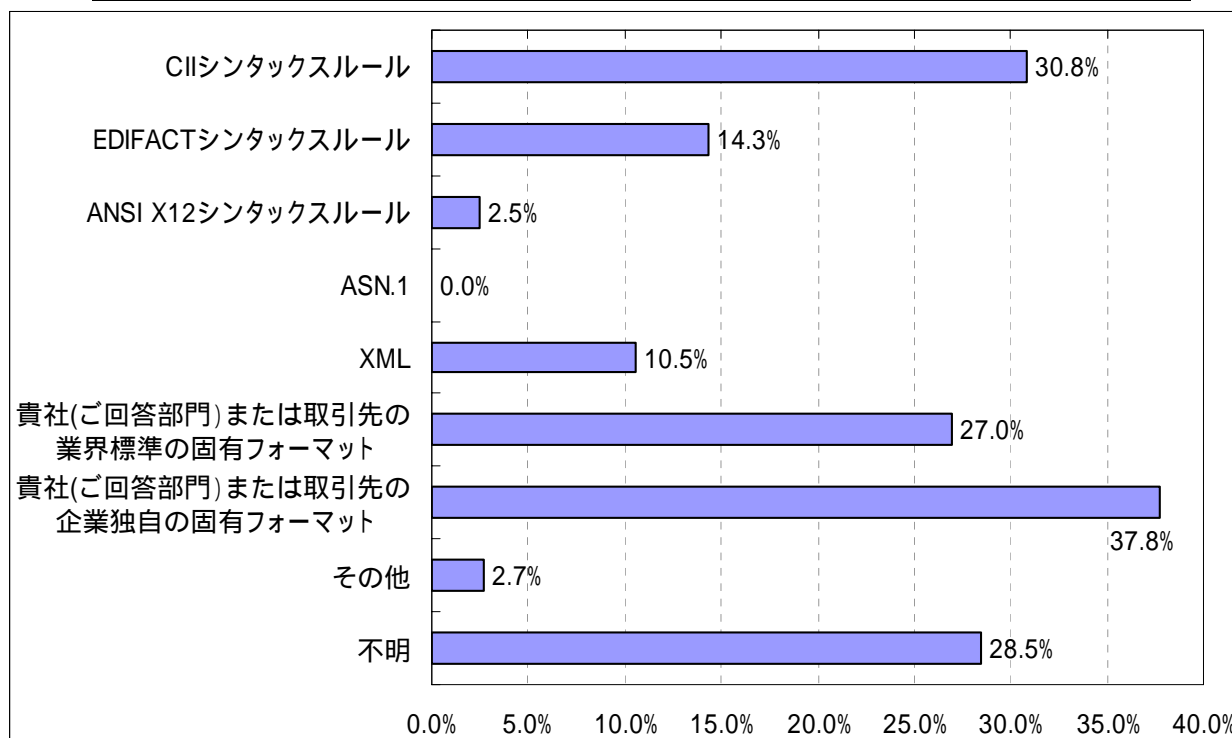


「不明」が 41.5%と、多くの企業はまだ「次」を検討する段階に至っていないことが伺える。また、プロトコルでは「HTTP , HTTPS」や「全銀 TCP/IP 手順(拡張 Z 手順)」など、インターネット上のプロトコルが検討の対象となる比率が高い。また、使用中のプロトコルでは僅か 0.2%だった「ebMS (ebXML 通信手順)」を検討している企業が 11.0%に達している。

問6 現在 EDI にご使用のシンタックスルール(構文規則・文法)は何ですか。主要なものをお答えください。(3 つまで選択)

…有効回答数:474

EDI に使用しているシンタックスルール	回答数	構成比
CII シンタックスルール	146	30.8%
EDIFACT シンタックスルール	68	14.3%
ANSI X12 シンタックスルール	12	2.5%
ASN.1	0	0.0%
XML	50	10.5%
貴社(ご回答部門)または取引先の業界標準の固有フォーマット	128	27.0%
貴社(ご回答部門)または取引先の企業独自の固有フォーマット	179	37.8%
その他	13	2.7%
不明	135	28.5%

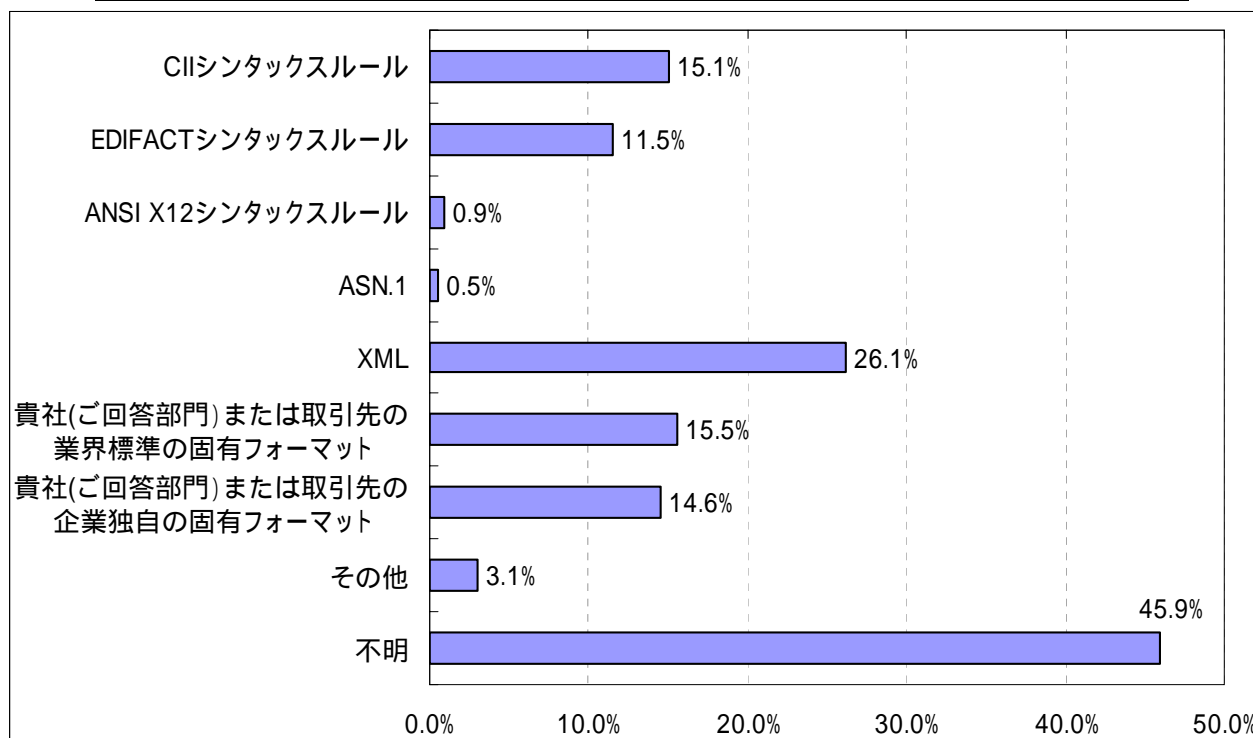


「CII シンタックスルール」が 30.8%、「自社または取引先の業界標準の固有フォーマット」が 27.0%、「EDIFACT シンタックスルール」が 14.3%と、標準フォーマットが利用されている一方で、「自社または取引先の企業独自の固有フォーマット」も 37.8%と多い。

問7 今後 EDI にご使用を検討されているシンタックスルール(構文規則・文法)は何ですか。主要なものをお答えください。(3 つまで選択)

…有効回答数:425

EDI に使用を検討しているシンタックスルール	回答数	構成比
CII シンタックスルール	64	15.1%
EDIFACT シンタックスルール	49	11.5%
ANSI X12 シンタックスルール	4	0.9%
ASN.1	2	0.5%
XML	111	26.1%
貴社(ご回答部門)または取引先の業界標準の固有フォーマット	66	15.5%
貴社(ご回答部門)または取引先の企業独自の固有フォーマット	62	14.6%
その他	13	3.1%
不明	195	45.9%

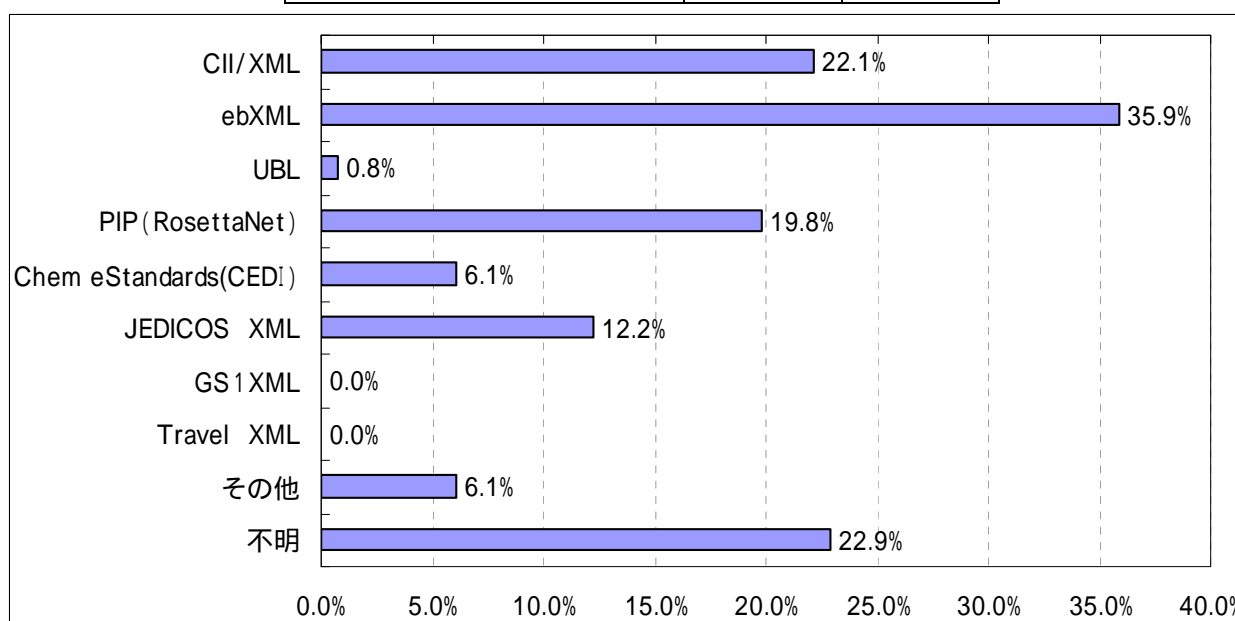


「不明」が 49.5%と最も高い割合を占めているが、問 5 の場合と同様、多くの企業はまだ「次」を検討する段階に至っていないことが伺える。それ以外では、「XML」が 26.1%と、次のシンタックスルールとして最も期待を集めている。

問8 問6または問7でXMLとご回答の方にお伺いします。XMLのメッセージ方式は何ですか。主要なものをお答えください。(3つまで選択)

…有効回答数:131

XMLのメッセージ方式	回答数	構成比
CII/XML	29	22.1%
ebXML	47	35.9%
UBL	1	0.8%
PIP (RosettaNet)	26	19.8%
Chem eStandards(CEDI)	8	6.1%
JEDICOS XML	16	12.2%
GS1XML	0	0.0%
Travel XML	0	0.0%
その他	8	6.1%
不明	30	22.9%

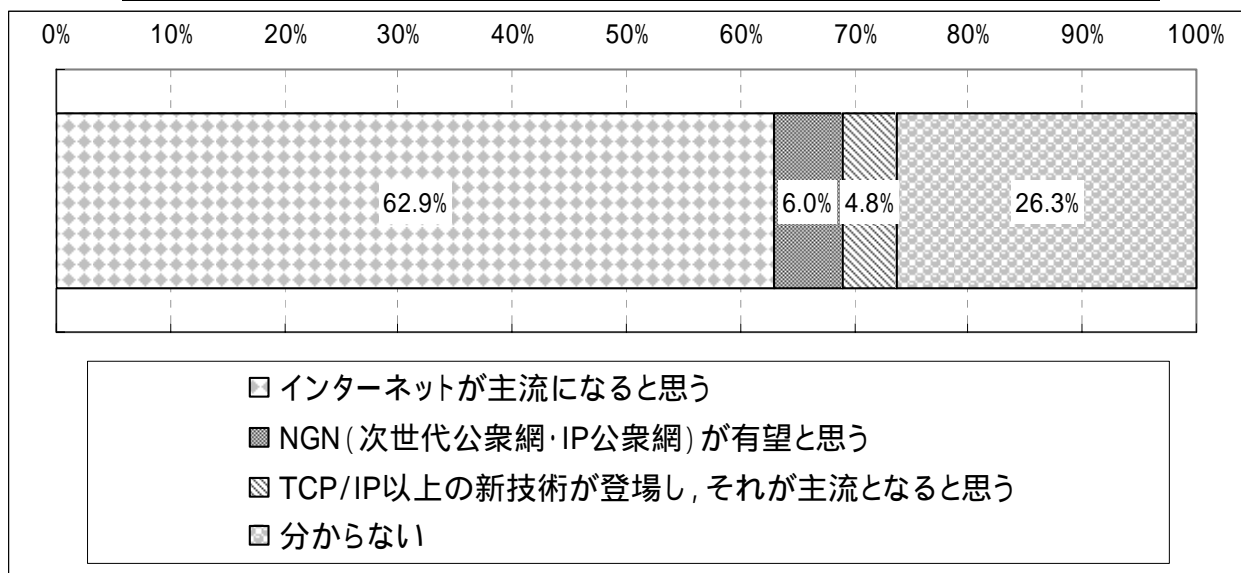


「ebXML」が35.9%と最も高く、次いで「CII/XML」が22.1%、「PIP (RosettaNet)」が19.8%を占めている。

問9 今後 EDI のネットワークとしてインターネットが主流になるとお考えですか。(1つ選択)

…有効回答数:537

今後主流になると思う EDI ネットワーク	回答数	構成比
インターネットが主流になると思う	338	62.9%
NGN(次世代公衆網・IP 公衆網)が有望と思う	32	6.0%
TCP/IP 以上の新技術が登場し、それが主流になると思う	26	4.8%
分からない	141	26.3%
合計	537	100.0%

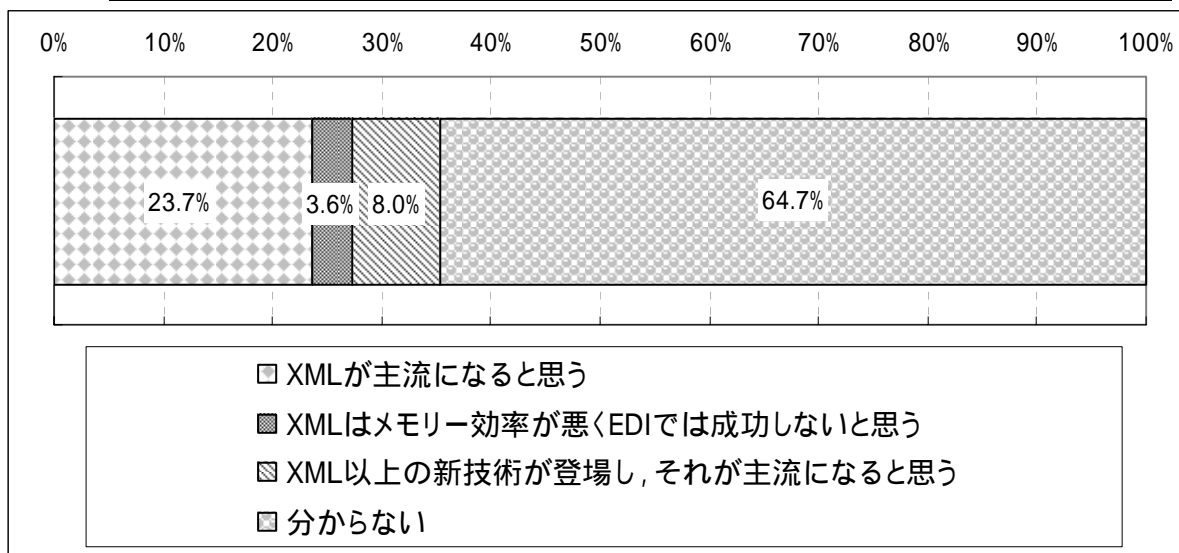


「インターネットが主流になると思う」が 62.9%と突出して多く、EDI のネットワークとしてのインターネットに対する期待は大きい。

問10 今後 EDI のシンタックスとして XML が主流になるとお考えですか。(1つ選択)

…有効回答数:502

XML が主流になると思うか	回答数	構成比
XML が主流になると思う	119	23.7%
XML はメモリー効率が悪く EDI では成功しないと思う	18	3.6%
XML 以上の新技術が登場し、それが主流になると思う	40	8.0%
分からない	325	64.7%
合計	502	100.0%



インターネットが主流になるという考えが圧倒的なのに対し、シンタックスにおいては「分からない」が64.7%と、はっきりと先が見通せていないとする意見が圧倒的に多い。

3. まとめ

3 まとめ

3.1 アンケート調査結果より

3.1.1 業務面について

アンケート調査結果のうち、「2.2 EDI 活用の実態 ～業務面」について、以下に総括する。

- ・ 売上高規模の大小に関わらず、全ての取引先との取引に EDI を導入できている企業は非常に限定的で、また、EDI を受発注に用いている企業においても、EDI による受発注の比率が 10% に満たない企業が半数程度を占めることも多いなど、EDI を導入している企業であっても、FAX や電話など他の手段との併用が圧倒的に多いことが窺える。(問 7、問 13、問 14、問 15、問 16)
- ・ 売上高規模の小さい企業はそもそも EDI の必要性を感じていない企業も多く、したがって、現在 EDI を利用している企業であっても、中小企業においては自社の必然性ではなく、取引先からの求めに応じて導入している企業が少なからず存在しているものと思われる。(問 7)
- ・ 売上高規模の大きい企業は EDI 導入の効果を認識しているが、売上高規模の小さい企業はさほど効果を認識できていない。このことから、中小企業は自社のニーズによって導入したわけではない上に、取引先から求められて EDI を実施している状況が窺える。Web-EDI の拡大はこのような事情を反映しており、中小企業の効率化につながっていない可能性が危惧される。(問 10)
- ・ 業界 EDI 標準を知りながら利用していない、あるいは標準が策定されていることを知らない企業が多く、その一方で EDI の中でも Web-EDI の利用が多い。このことも、このような効果を創出しない受け身の EDI 利用の状況を表しているものと推察できる。(問 18、[技術面]問 3)
- ・ EDI 導入の当初の目的は受発注でありながら、そこから受発注周辺業務に関わる多用途の EDI の利用(即ち企業間の情報連携)が拡大することが理想だが、今のところ EDI を多用途に展開できている企業は少なく、多用途に展開しようというところまでニーズがないか、もしくはニーズがあっても検討はされていないという状況にある。(問 11、問 12)
- ・ 業界 EDI 標準を利用している企業は全体の 3 割に過ぎず、しかもそのうちの 3 割は複数の業界標準を併用している状況にあり、EDI の標準化によるメリットを享受できている企業は非常に限られている。(問 18、問 19)

3.1.2 技術面について

アンケート調査結果のうち、「2.3 EDI 活用の実態 ～技術面」について、以下に総括する。

- ・ 現状、今後とも、インターネットの利用(意向)が多く、したがってプロトコルもインターネット上のプロトコルの利用(意向)が多いが、利用している(もしくは利用の意向を持っている)EDI の方式は Web-EDI が過半数、電子メールが 3 割超と、必ずしもインターネットの普及が業務の効率化には結び付いていないケースも少なくないものと推察される。(問 1、問 2、問 3、問 4)
- ・ インターネットへの期待は高いものの、XML が主流となるかどうかは分からないとする意見が多いなど、漠然とインターネットが広く EDI に使われるようになるとは思っていても、現状のインターネット EDI / Web-EDI の問題点と対応方法について十分に認識が進ん

でない可能性がある。(問 9、問 10)

3.2 調査票に関する改善提案

アンケート調査票の内容に関して、次年度の調査に向けて検討が必要と思われる点を以下に挙げる。

- 次年度以降も観測を続けるべき設問
 - 国内企業との取引における EDI 導入状況は、特に「実施したいが現状は行っていない」という企業の推移について、その理由と合わせて観測を続けるべきと思われる。
 - EDI の効果に対する認識の変化は、Web-EDI の動向と合わせて、特に売上高規模の小さい企業について、観測し続けるべきと思われる。
 - 受発注で EDI を実施している場合の、受発注件数または相手先数における EDI 実施の比率は、受発注用途に限らず、EDI の普及状況を掴むためには適した指標と思われる。
 - インターネットを使用した EDI の方式、通信プロトコル、シンタックスルールは、今後、インターネット EDI の広がりとともにダイナミックに変化する可能性があるため、注視すべきと思われる。
- 次年度以降観測から外しても支障がないと思われる設問
 - 月平均の受発注件数は、傾向が非常に分散しているうえに、EDI との関連と結び付けることも難しい(受発注件数が多ければ EDI の利用は進んでおり、少なければ進んでいないことは明らか)ため、観測する意義は薄いと思われる。
 - EDI を始める際に苦労した点は、EDI の標準化が進んだり、インターネットによる EDI が進展したりしても特に変わるものではないため、継続して観測する意義は薄いと思われる。
 - EDI 標準に対する企業の考え(誰が取り組むべきか)は、今後継続して観測しても大きく変化することはないと思われる。
- 次年度以降追加・改善すべき設問
 - 現在 EDI に使用しているネットワークと、今後 EDI に使用することを検討しているネットワークとをそれぞれ聞いているが、インターネットが前者 77.8%、後者 74.1%と、明らかに重複が多数含まれている。通信ネットワークの移り変わりを掴むためには、後者は「今後新たに EDI に使用することを検討しているネットワーク」とし、さらに、選択肢には「特になし」を追加すべき。
- 次年度以降もっと掘り下げるべき設問
 - 今回の調査結果からは、Web-EDI が EDI の普及に寄与している反面、特に中小企業にとってはメリットを実感できていない様子が窺える。この傾向を明確に把握するためには、Web-EDI による発注者(主に大企業)と受注者(主に中小企業)別に、導入した背景や導入によるメリット・デメリットなどを更に聞き取るべき。
 - 海外企業との直接 EDI の実施の有無については、そもそも海外企業と取引を実施している企業でなければ意味がないため、そういった設問と合わせて聞き取りをすべき。
 - また、海外の企業と直接 EDI を実施している企業に対しては、国内の EDI との違い、特に標準化やネットワーク、プロトコル等について掘り下げることで、国内と

海外の違いについて有用な示唆を導き出せる可能性がある。

3.3 調査実施方法に関する改善提案

アンケート調査の実施方法に関して、次年度の調査に向けて検討が必要と思われる点を以下に挙げる。

- JEDIC EDI 推進委員会と会員団体間の十分な擦り合わせの実施
調査実施方法について、事前に EDI 推進委員会における十分な検討のもと決定されたはずであったが、その内容が各団体・窓口十分に伝わっていなかったため、各団体との実施手順の調整において、想定していた以上の時間を必要とした。
- アンケート調査票の送付方法とスケジュール
会員企業の連絡窓口(住所、電話番号など)を把握していても、メールアドレスまでは把握していない業界団体が、多数ではないものの複数存在する。したがって、今回のように JEDIC 会員団体を經由して企業に対して依頼状やアンケート調査票を送付する場合でも、少なからず郵送作業が発生する。郵送を前提としたスケジュール見積りは必須と思われる。
- 調査実施時期の見直し
調査実施時期が年度末の繁忙期と重複していることを理由に、いくつかの会員団体からは協力依頼に対してお断りをいただいた。また、回答いただく企業の担当者にとっても、この時期のアンケートは負担が大きいものと思われる。
- 業界団体独自調査等との実施時期の調整
業界独自の類似調査を、今回の調査の前後に実施された(またはされる)との理由から、いくつかの会員団体から協力依頼に対してお断りをいただいた。類似調査を繰り返し行うことは会員団体の負担になるうえ、回収率の低下にもつながるため、業界独自調査と時期を合わせて同時に実施するといった調整が必要と思われる。
- 個人情報の取り扱い方針の明確化
今回の調査では、調査票の郵送にあたって、業界団体との間で個人情報の授受が発生するケースがあり、後々問題が生じないよう、手続きに業界団体、NTT データ経営研究所とも相当の時間を費やした。個人情報の授受が発生しない方法のみに限定する、あるいは授受が発生する場合に備えてガイドライン等を予め用意する、といった対応が望まれる。

4 アンケート調査票

平成 18 年度「我が国産業界における EDI 実態調査」質問票 1

質問票 1 は、EDI の実施状況、EDI の認知度、標準化へのご関心などを伺います。
お分かりになる範囲で結構ですので、なるべくお答えください。

貴社名及びご回答部門名	
-------------	--

問1 貴社の H18 年 3 月末時点の資本金はどれくらいですか。【1つに 】

1. 100 万円未満	7. 10 億円以上 50 億円未満
2. 100 万円以上 1 千万円未満	8. 50 億円以上 100 億円未満
3. 1 千万円以上 5 千万円未満	9. 100 億円以上 500 億円未満
4. 5 千万円以上 1 億円未満	10. 500 億円以上 1 千億円未満
5. 1 億円以上 5 億円未満	11. 1 千億円以上
6. 5 億円以上 10 億円未満	12. 不明

問2 貴社(ご回答部門)の H17 年度の売上高はどれくらいですか。【1つに 】

1. 100 万円未満	7. 10 億円以上 50 億円未満
2. 100 万円以上 1 千万円未満	8. 50 億円以上 100 億円未満
3. 1 千万円以上 5 千万円未満	9. 100 億円以上 500 億円未満
4. 5 千万円以上 1 億円未満	10. 500 億円以上 1 千億円未満
5. 1 億円以上 5 億円未満	11. 1 千億円以上
6. 5 億円以上 10 億円未満	12. 不明

問3 貴社(ご回答部門)の H18 年 3 月末時点の従業員は何人ですか。【1つに 】

1. 10 人未満	6. 1 千人以上 5 千人未満
2. 10 人以上 50 人未満	7. 5 千人以上 1 万人未満
3. 50 人以上 100 人未満	8. 1 万人以上
4. 100 人以上 500 人未満	9. 不明
5. 500 人以上 1 千人未満	

問4 貴社(ご回答部門)が所属する業界団体をお教えてください。

複数の団体に所属されている場合は、ご回答部門と関係の深い順に4つまでお答えください。【4つまで】

- | | |
|------------------------|---|
| 1. (社)日本自動認識システム協会 | 33. (社)日本電気計測器工業会 |
| 2. (財)エンジニアリング振興協会 | 34. (社)日本電機工業会 |
| 3. (財)家電製品協会 | 35. (社)全国自動車部品商団体連合会 |
| 4. (社)日本アルミニウム協会 | 36. (社)電子情報技術産業協会 |
| 5. (財)建設業振興基金 | 37. (社)日本電線工業会 |
| 6. (社)日本鉄鋼連盟 | 38. (社)パーソナルコンピュータソフトウェア協会 |
| 7. (社)港湾物流情報システム協会 | 39. (社)日本半導体製造装置協会 |
| 8. (財)国際情報化協力センター | 40. 日本百貨店協会 |
| 9. 写真業界流通情報システム協議会 | 41. 日本フォーム印刷工業連合会 |
| 10. (財)住宅産業情報サービス | 42. (社)日本貿易会 |
| 11. (社)情報サービス産業協会 | 43. (財)日本貿易関係手続簡易化協会
(及び本協会の会員団体,日本船主協会など) |
| 12. (財)情報処理相互運用技術協会 | 44. 日本紡績協会 |
| 13. (財)生活用品振興センター | 45. 日本優良家具販売協同組合 |
| 14. (財)製造科学技術センター | 46. (社)日本ロジスティクスシステム協会 |
| 15. 石油化学工業協会 | 47. (社)日本物流団体連合会
(及び本連合会の会員団体,例:全日本トラック協会など) |
| 16. 石油連盟 | 48. NEXT Q |
| 17. 全国コイルセンター工業組合 | 49. (財)流通システム開発センター |
| 18. 全国鉄鋼販売業連合会 | 50. 旅行電子商取引促進機構 |
| 19. 全日本電設資材卸業協同組合連合会 | 51. (財)日本情報処理開発協会 |
| 20. 電気事業連合会 | 52. (財)石油産業活性化センター |
| 21. (社)日本アパレル産業協会 | 53. 繊維産業流通構造改革推進協議会 |
| 22. (財)インターネット協会 | 54. (社)日本配電盤工業会 |
| 23. 日本化学繊維協会 | 55. (社)日本航空宇宙工業会 |
| 24. (社)日本ガス協会 | 56. (財)食品流通構造改善促進機構 |
| 25. 日本紙商団体連合会 | 57. 全国家電流通協議会 |
| 26. (社)日本玩具協会 | 58. (社)日本塗料工業会 |
| 27. (社)日本建材・住宅設備産業協会 | 59. (社)日本電気制御機器工業会 |
| 28. (社)日本広告業協会 | 60. 共通XML/EDI 実用化推進協議会 |
| 29. (社)日本自動車工業会 | 61. 不明 |
| 30. (社)日本情報システム・ユーザー協会 | |
| 31. 日本製紙連合会 | |
| 32. 日本チェーンストア協会 | |

問5 貴社(ご回答部門)が発注者の立場の場合、平成17年度の月平均の国内企業への発注件数はどのくらいですか。【1つに】

- | | |
|------------------------|--------------------|
| 1. 1件以上 ~ 500件未満 | 6. 5万件以上 ~ 10万件未満 |
| 2. 500件以上 ~ 1,000件未満 | 7. 10万件以上 ~ 50万件未満 |
| 3. 1,000件以上 ~ 5,000件未満 | 8. 50万件以上 ~ |
| 4. 5,000件以上 ~ 1万件未満 | 9. 不明 |
| 5. 1万件以上 ~ 5万件未満 | |

問6 貴社(ご回答部門)が受注者の立場の場合、平成17年度の月平均の国内企業からの受注件数はどのくらいですか。【1つに】

- | | |
|------------------------|--------------------|
| 1. 1件以上 ~ 500件未満 | 6. 5万件以上 ~ 10万件未満 |
| 2. 500件以上 ~ 1,000件未満 | 7. 10万件以上 ~ 50万件未満 |
| 3. 1,000件以上 ~ 5,000件未満 | 8. 50万件以上 ~ |
| 4. 5,000件以上 ~ 1万件未満 | 9. 不明 |
| 5. 1万件以上 ~ 5万件未満 | |

問7 貴社(ご回答部門)では国内企業との取引で、EDIを導入していますか。【1つに】

- | | |
|--------------------|------------------------|
| 1. 全ての取引先と行っている | 4. 現在実施しておらず、今後行う予定はない |
| 2. 一部の取引先と行っている | 5. 不明 |
| 3. 実施したいが現状は行っていない | |

問8 問7で「実施したいが現状は行っていない。」とお答えの方に伺います。EDIを導入していない理由は何ですか。3つまでお答えください。【3つまで】

- | |
|--|
| 1. EDI導入のコストが高い |
| 2. EDI導入の効果が見えない |
| 3. EDI導入に詳しいシステムベンダ、ソフトウェア業者に関する情報がない |
| 4. EDI標準フォーマットなど業界共通の標準がない |
| 5. 社内にEDIに詳しい人材がいない |
| 6. 既に取引先と独自手法(紙ベースなど)がある |
| 7. 社内システムとデータフォーマットが合わず連携がとりにくい |
| 8. 複数(顧客ごと)のシステムが導入されるようになってしまう |
| 9. 取引先が貴社(ご回答部門)の情報セキュリティについて不安を持っている |
| 10. 貴社(ご回答部門)が取引先の情報セキュリティについて不安を持っている |
| 11. その他 |

問9 問7で「全ての取引先と行っている」または「一部の取引先と行っている」とお答えの方に伺います。EDIを始める際、または拡大する際に苦労した(苦労している)点について、3つまでお答え下さい。【3つまで】

- | | |
|-----------------------------------|----------------|
| 1. 社内トップ(経営者)の調整、説得 | 6. 取引先との調整 |
| 2. 社内の各部門の調整、説得
(EDI導入のメリットなど) | 7. 社内での人材の確保 |
| 3. 社内の業務処理の変更 | 8. 社内での資金の確保 |
| 4. 社内システムの接続、調整 | 9. EDIに関する情報収集 |
| 5. システムベンダ、ソフトウェア業者の
選定・調整 | 10. 特になし |
| | 11. その他 |

問10 EDIの導入はIT経営や業務改革、売り上げの拡大等に役立っていますか。【1つに】

- | | |
|---------------|----------------|
| 1. 非常に役立っている | 4. まったく役立っていない |
| 2. ある程度役立っている | 5. 不明 |
| 3. あまり役立っていない | |

問11 現在どのような業務に EDI を導入していますか。主なものを3つまでお答えください。【3つまで】

- | | |
|----------------------|--------------------------------------|
| 1. 商流 EDI: 受発注 | 11. 金流(金融)EDI: 金融機関との EDI(ファームバンキング) |
| 2. 商流 EDI: 見積り | 12. 金流(金融)EDI: その他 |
| 3. 商流 EDI: 納期間合せ | 13. 設計・製造情報や図面などの EDI |
| 4. 商流 EDI: その他 | 14. 商品画像などの EDI |
| 5. 物流 EDI: 運送指示 | 15. 商品の品質データなどの EDI |
| 6. 物流 EDI: 倉庫管理 | 16. 販売促進のための商品知識, 「蒔蓄情報」などの EDI |
| 7. 物流 EDI: 貨物追跡 | 17. 店頭在庫・流通在庫把握のための EDI |
| 8. 物流 EDI: 船積・船卸手配 | 18. 販売実績, 実売価格などマーケティング情報の EDI |
| 9. 物流 EDI: その他 | 19. その他の業務 |
| 10. 金流(金融)EDI: 請求支払い | 20. 特になし |

問12 今後新たに EDI 導入を考えたい(考えている)業務がありますか。主なものを3つまでお答えください。【3つまで】

- | | |
|----------------------|--------------------------------------|
| 1. 商流 EDI: 受発注 | 11. 金流(金融)EDI: 金融機関との EDI(ファームバンキング) |
| 2. 商流 EDI: 見積り | 12. 金流(金融)EDI: その他 |
| 3. 商流 EDI: 納期間合せ | 13. 設計・製造情報や図面などの EDI |
| 4. 商流 EDI: その他 | 14. 商品画像などの EDI |
| 5. 物流 EDI: 運送指示 | 15. 商品の品質データなどの EDI |
| 6. 物流 EDI: 倉庫管理 | 16. 販売促進のための商品知識, 「蒔蓄情報」などの EDI |
| 7. 物流 EDI: 貨物追跡 | 17. 店頭在庫・流通在庫把握のための EDI |
| 8. 物流 EDI: 船積・船卸手配 | 18. 販売実績, 実売価格などマーケティング情報の EDI |
| 9. 物流 EDI: その他 | 19. その他の業務 |
| 10. 金流(金融)EDI: 請求支払い | 20. 特になし |

問13 貴社(ご回答部門)が受注者の立場で EDI を実施している場合、取引先社数の何%と EDI 取引を実施していますか。【1つに】

- | | |
|-----------------|---------------------------|
| 1. 10%未満 | 5. 70%以上, 90%未満 |
| 2. 10%以上, 30%未満 | 6. 90%以上 |
| 3. 30%以上, 50%未満 | 7. そのような立場での EDI は実施していない |
| 4. 50%以上, 70%未満 | 8. 不明 |

問14 貴社(ご回答部門)が受注者の立場で EDI を実施している場合、受注件数の何%が EDI で取引されていますか。【1つに】

- | | |
|-----------------|---------------------------|
| 1. 10%未満 | 5. 70%以上, 90%未満 |
| 2. 10%以上, 30%未満 | 6. 90%以上 |
| 3. 30%以上, 50%未満 | 7. そのような立場での EDI は実施していない |
| 4. 50%以上, 70%未満 | 8. 不明 |

問15 貴社(ご回答部門)が発注者の立場で EDI を実施している場合、取引先社数の何%と EDI 取引を実施していますか。【1つに】

- | | |
|----------------|---------------------------|
| 1. 10%未満 | 5. 70%以上,90%未満 |
| 2. 10%以上,30%未満 | 6. 90%以上 |
| 3. 30%以上,50%未満 | 7. そのような立場での EDI は実施していない |
| 4. 50%以上,70%未満 | 8. 不明 |

問16 貴社(ご回答部門)が発注者の立場で EDI を実施している場合、発注件数の何%が EDI で取引されていますか。【1つに】

- | | |
|----------------|---------------------------|
| 1. 10%未満 | 5. 70%以上,90%未満 |
| 2. 10%以上,30%未満 | 6. 90%以上 |
| 3. 30%以上,50%未満 | 7. そのような立場での EDI は実施していない |
| 4. 50%以上,70%未満 | 8. 不明 |

問17 EDI の標準化についてどのようにお考えですか。【1つに】

- | |
|-------------------------------|
| 1. 自社が標準化に積極的に関与する必要がある |
| 2. 業界の主導的な企業が標準化に積極的に取り組むべき |
| 3. JEDIC や業界団体が標準化に積極的に取り組むべき |
| 4. 政府が標準化に積極的に取り組むべき |
| 5. 国連等が標準化に積極的に取り組むべき |
| 6. EDIの標準化の必要は無い |
| 7. 特に意見はない |

問18 貴社(ご回答部門)が所属する業界の EDI 標準についてお答えください。【1つに】

- | |
|--|
| 1. EDI 標準を策定・推奨しており、貴社(ご回答部門)はそれを使用している |
| 2. EDI 標準を策定または推奨しているが、貴社(ご回答部門)は使用していない |
| 3. EDI 標準を策定・推奨しているか否か知らない |
| 4. 取引先企業が加盟する業界団体の EDI 標準を使用している |

問19 問18で「EDI 標準を策定・推奨しており、貴社(ご回答部門)はそれを使用している」とお答えの方に伺います。ご使用の業界標準は単一の標準ですか、それとも複数の業界の標準を併用していますか。【1つに】

- | |
|----------------|
| 1. 単一の業界標準である。 |
| 2. 複数の業界標準である。 |
| 3. 不明 |

問20 貴社(ご回答部門)では海外の企業と直接 EDI を実施していますか。【1つに】

- | |
|------------|
| 1. 実施している |
| 2. 実施していない |
| 3. 不明 |

平成 18 年度「我が国産業界における EDI 実態調査」質問票 2

質問票 2 は、皆様をご現在使用されている、あるいは今後ご使用になりたい EDI の方式についてお伺いします。お分かりになる範囲でお答えください。

技術をご専門の方がいらっしゃらない場合は、回答されなくても結構です。

問1 現在 EDI にご使用の通信ネットワークは何ですか。主要なものを 3 つまでお答えください。【 3 つまで 】

- | | |
|------------------|------------|
| 1. 公衆回線・電話線・ISDN | 5. インターネット |
| 2. 専用線 | 6. その他 |
| 3. 汎用 VAN サービス | 7. 不明 |
| 4. 業界 VAN サービス | |

問2 今後 EDI にご使用を検討されている通信ネットワークは何ですか。主要なものを 3 つまでお答えください。【 3 つまで 】

- | | |
|------------------|------------|
| 1. 公衆回線・電話線・ISDN | 5. インターネット |
| 2. 専用線 | 6. その他 |
| 3. 汎用 VAN サービス | 7. 不明 |
| 4. 業界 VAN サービス | |

問3 問 1 または問 2 でインターネットとご回答の方にお伺いします。インターネットを使用した EDI の方式はどれですか。主要なものを 3 つまでお答えください。【 3 つまで 】

- | |
|--|
| 1. 電子メールに EDI メッセージを添付する方式 |
| 2. ファイル転送プロトコルでエンドトゥエンドで送受する方式 |
| 3. Web サーバー上の取引データをクライアントの PC からアクセスする方式 |
| 4. センターに共有データベースを置き、相互にアクセスする方式 |
| 5. Web サービスなどリアルタイムで問い合わせ応答等を行う方式 |
| 6. その他 |
| 7. 不明 |

問4 現在 EDI にご使用の通信プロトコルは何ですか。主要なものを 3 つまでお答えください。【 3 つまで 】

- | | |
|----------------------------|-----------------------------|
| 1. J 手順 (JCA 手順) | 8. AS1 (IETF のセキュア・メール) |
| 2. 全銀手順 | 9. AS2 (IETF のセキュア・HTTP) |
| 3. 全銀 TCP/IP 手順 (拡張 Z 手順) | 10. AS3 (IETF のセキュア・FTP) |
| 4. HTTP, HTTPS | 11. RNIF (RosettaNet 通信手順) |
| 5. SMTP | 12. ebMS (ebXML 通信手順) |
| 6. FTP | 13. その他 |
| 7. SOAP | 14. 不明 |

問5 今後 EDI にご使用を検討されている通信プロトコルは何ですか。主要なものを3つまでお答えください。【3つまで】

- | | |
|-----------------------------|------------------------------|
| 1. J 手順 (JCA 手順) | 8. AS1 (IETF のセキュア ・ メール) |
| 2. 全銀手順 | 9. AS2 (IETF のセキュア ・ HTTP) |
| 3. 全銀 TCP/IP 手順 (拡張 Z 手順) | 10. AS3 (IETF のセキュア ・ FTP) |
| 4. HTTP , HTTPS | 11. RNIF (RosettaNet 通信手順) |
| 5. SMTP | 12. ebMS (ebXML 通信手順) |
| 6. FTP | 13. その他 |
| 7. SOAP | 14. 不明 |

問6 現在 EDI にご使用のシンタックスルール (構文規則 ・ 文法) は何ですか。主要なものを3つまでお答えください。【3つまで】

- | | |
|-----------------------|--------------------------------------|
| 1. CII シンタックスルール | 6. 貴社 (ご回答部門) または取引先の業界標準の固有フォーマット |
| 2. EDIFACT シンタックスルール | 7. 貴社 (ご回答部門) または取引先の企業独自の固有フォーマット |
| 3. ANSI X12 シンタックスルール | 8. その他 |
| 4. ASN.1 | 9. 不明 |
| 5. XML | |

問7 今後 EDI にご使用を検討されているシンタックスルール (構文規則 ・ 文法) は何ですか。主要なものを3つまでお答えください。【3つまで】

- | | |
|-----------------------|--------------------------------------|
| 1. CII シンタックスルール | 6. 貴社 (ご回答部門) または取引先の業界標準の固有フォーマット |
| 2. EDIFACT シンタックスルール | 7. 貴社 (ご回答部門) または取引先の企業独自の固有フォーマット |
| 3. ANSI X12 シンタックスルール | 8. その他 |
| 4. ASN.1 | 9. 不明 |
| 5. XML | |

問8 問6または問7でXMLとご回答の方にお伺いします。XMLのメッセージ方式は何ですか。主要なものを3つまでお答えください。【3つまで】

- | | |
|-----------------------------|----------------|
| 1. CII/XML | 6. JEDICOS XML |
| 2. ebXML | 7. GS 1 XML |
| 3. UBL | 8. Travel XML |
| 4. PIP (RosettaNet) | 9. その他 |
| 5. Chem eStandards (CEDI) | 10. 不明 |

問9 今後 EDI のネットワークとしてインターネットが主流になるとお考えですか。 【1つに】

1. インターネットが主流になると思う
2. NGN (次世代公衆網・IP 公衆網) が有望と思う
3. TCP/IP 以上の新技術が登場し,それが主流となると思う
4. 分からない

問10 今後 EDI のシンタックスとして XML が主流になるとお考えですか。 【1つに】

1. XML が主流になると思う
2. XML はメモリー効率が悪く EDI では成功しないと思う
3. XML 以上の新技術が登場し,それが主流になると思う
4. 分からない

禁 無 断 転 載

平成 18 年度 我が国産業界における EDI 実態調査報告書
平成 19 年 3 月 発行

発行所 財団法人 日本情報処理開発協会
電子商取引推進センター
東京都港区芝公園三丁目 5 番 8 号
機械振興会館 3 階
TEL : 03 (3 4 3 6) 7 5 0 0